

岩手県薬剤師会誌

イハトブ

第76号
2019

巻頭言・寄稿・会務報告・理事会報告・委員会の動き・
保険薬局部会から・地域薬剤師会の動き・検査センターのページ・
薬連だより・最近の話題・質問に答えて・
岩手医科大学薬学部講座紹介・リレーエッセイ・話題のひろば・
職場紹介・保険薬局の動き・会員の動き・求人情報



編集・発行／一般社団法人岩手県薬剤師会 令和元年11月30日



岩手県医薬品卸業協会

株式会社スズケン岩手

〒020-0125 岩手県盛岡市上堂4-5-1

☎019(641)3311

東邦薬品株式会社岩手営業部

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-7-15

☎019(646)7130

東北アルフレッサ株式会社岩手営業部

〒020-0846 岩手県盛岡市流通センター北1-4-7

☎019(637)3333

株式会社バイタルネット岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-1-12

☎019(638)8891

株式会社メディセオ北海道・東北支社岩手営業部

〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第5地割6-26

☎0198(26)0552



釜石にワールドカップがやってきた!

(一社) 岩手県薬剤師会

常務理事 本 田 昭 二

2016年希望郷いわて国体が終わり、次なる大きなイベントはラグビーワールドカップ(RWC)と決まり文句のように言い続けてきて早3年。あっという間に開催の時が来ました。

世界から20ヶ国が参加し、全国12会場で熱戦が繰り広げられ、釜石では、2試合が予定されていました。釜石会場は東京会場に次いでチケット取得が困難と言われ、私もチケットを取得できませんでした。仕事として参加することができませんでした。

ワールドカップ直前の7月に行われた、「パシフィックネーションズカップ2019 日本vsフィジー戦」にも同様に参加しましたが、国際試合とあって、入場セキュリティが厳しく、持参のペットボトルは持込禁止、場内の自販機は全て封鎖されました。しかも、この日の釜石の気温は、今年最高の34℃。スタジアム内の水分補給所は1ヶ所のみ(終盤、コップが無くなり、コップは自己調達となりました)。ドリンクショップはというと、ビール等のアルコール飲料は数ヶ所で販売しているのに、ソフトドリンクを販売しているのは1ヶ所のみという状況(仕事として参加しているため、当然、アルコールを口にすることはできません)で、我々のスタッフでも一人が軽い熱中症にかかりダウン寸前となりました。自分でも、あれほど水が欲しいと思ったのは高校の部活以来でした(その時は監督に隠れながら田んぼの水を飲んだものでした。日本代表が熱戦を繰り広げている裏で、私も暑さと水分不足と戦っていました)。

試合の方は、日本代表が、終始、ゲームを優位に支配し見事勝利しました。試合後には日本代表選手ロッカールームから、あの「ビクトリーロード」が高らかに聞こえてきました。後で、選手の一人に聞いたら、「勝った時はもちろん歌うけど、負けた時も同じように歌う」ということでした。この時点では、この曲の意味を知る由もありませんでしたが、チームがすごく大事にしている曲であることは理解でき、とても感動しました。

そうして迎えた、「ワールドカップ釜石大会 フィジー vs ウルグアイ戦」。日本戦ではないにもかかわらず観衆は、超満員の14,000人。この日は本大会とあって、ボランティアも7月に比べてはるかに多く、中には、顔見知りボランティア

のユニフォームを着て、笑顔で来場者に接している姿(釜石市民やラグビー関係者が裏方として大会を支えていること)に胸が熱くなりました。

試合は、大方の予想を覆しウルグアイが勝利しました。試合後にウルグアイの選手が、サポーターと一緒に勝手を喜んでいたので印象的でした。敗れたフィジーですが、7月に続き2戦目のウノスタということで、歓声では勝っていましたし、試合前のウォークライ「シビ」は、非常に見えがありました。

世界最高峰の試合を通じて先ず感じたことは、自分にはできないスポーツだということです。選手のタフさはハンパなく、相手の頭や肘、膝が、顔面に入り、普通であれば脳震盪は間違いない状態にもかかわらず、頭を軽く振る程度で次のプレーに向かっていく、そして、試合後は、何事もなかったように普通にバナナを食べている。激しいプレーを裏付ける強靱な精神と肉体、それを得るために想像を絶する準備がされていることに、「圧巻」以外に形容する言葉が見つかりません(大学までラグビーをやり、今でも携わっている後輩がいますが、改めて凄いなと思います)。

今回のワールドカップで、ラグビーを初めて見た、という方も多いと思います。かくいう私もラグビー俄かファンですが、どの世界でも俄かファンが集まらなければ広がりはありません。多くの俄かファンを巻き込んで、今後の日本ラグビーの発展に期待したいと思います。

「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」皆さん一度は聞いたことのあるフレーズだと思います。ラグビー用語にもなっているこの言葉の意味をご存じですか?昭和の時代の大映テレビドラマの影響もあり、「一人は皆のために、皆は一人のために」と思っている方も多いと思いますが、実は、「一人は皆のために、皆は一つの目標のために」なのだそうです。

いわて国体をはじめ、これまでの薬剤師活動において仲間とともに一つの目標に向かって力を合わせて成し遂げることの充実感を味わってきました。この仲間同士の結束が、今こそ、必要なことではないでしょうか。

頼むぞ!後輩たち! (笑笑)

★★★ もくじ ★★★

巻頭言……………	1	最近の話題……………	24
寄稿……………	3	質問に答えて……………	27
薬と健康の週間イベント……………	6	岩手医科大学薬学部講座紹介……………	30
会務報告……………	8	リレーエッセイ……………	31
受賞おめでとうございます……………	9	話題のひろば……………	32
理事会報告……………	10	職場紹介……………	34
委員会の動き……………	11	会員の動き……………	36
地域薬剤師会の動き……………	16	保険薬局の動き……………	38
検査センターのページ……………	20	求人情報……………	39
薬連だより……………	22	編集後記……………	40

令和2年岩手県薬学・薬事関係者懇話会新年会の開催について

恒例の薬学・薬事関係者懇話会主催の新年会を下記のとおり開催いたします。
 新年を迎えるにあたり、薬業に携わる各界の皆様の情報交換の場になれば幸いです。
 会員の皆様には、お誘い併せのうえ多数ご参加ください。

[日 時]： 令和2年1月18日（土）午後5時から

[場 所]： 盛岡グランドホテル

[会 費]： 5,000 円

☆参加申込は、各地域薬剤師会長に取りまとめをお願いしておりますので、所属薬剤師会へお申し出ください。

☆県薬事務局へ直接ファックスあるいはメールで申し込んでいただいても結構です。

薬剤師から産婦人科医師へ

医療法人社団 みえこ女性クリニック理事長
 東京都板橋区産婦人科医会会長
 東京豊島東ロータリークラブ 2017～2018 幹事
 明治薬科大学 製薬学科 昭和 51 年卒

佐藤 美枝子

東京板橋に婦人科クリニックを開院して、はや 14 年になろうとしている。

開院を決めてから 6 か月またずに、開院場所や手続き・スタッフ募集と目まぐるしくことが進み開院した。

そしてドアオープンからアッという間に 14 年が経ち今日になってしまった。

群馬県から上京して

家業が病院を営んでいたため、家族も自分も医者になるのは当然と思って育ってきた。

且つ祖父母、両親、また叔母も医者で、とにかく周りは医者だらけ。

まわりの人はそして私も、医者になることは当たり前で当然なれると勘違いしていた。

三姉妹の三女として生まれ（弟がやっと生まれた）、甘やかされ期待をされずに私は育っていった。

楽しい学生生活はおわり、受験時代に突入。

テニス三昧と恋愛ごっこの青春の付けが、結果に反映し大学受験失敗。

今でも覚えているが、高校の職員室で口の悪い教師から「お前が医学部に入学できたら、俺は校庭を逆立ちして歩く」と言われた。

東京早稲田での浪人生活から薬大へ

もちろん翌年も医学部受験そして薬学部もトライして、結局明治薬科大学（世田谷校）に決定した。

確か 2 年生くらいの授業に薬学医学部卒業の講師の授業があり、その講師の先生に対して感じたのは「くよくよ 10 年も勉強したなあ」と驚きと自分とは全く別の世界の出来事と思ったことである。

薬大時代は楽しかった、授業中（実習中も）は白衣の下にテニスウェアを着て運動靴で過ごし休み時間はテニスコートに駆け足で行った。

同級生も共に行動し、先輩からもやさしくつまれ 4 年間はテニス三昧で過ぎていった。年 2 回のテニス合宿や数回あるコンパや先輩の企画したスキー合宿も楽しく友人とも深くつながった時期だった。

クラブ内では数組のカップルが生まれ、私の知る限りでは 3 組はその後結婚した。（今のところ、離婚はしていない）

残念ながら私はそのカップルには入っていない。

とにかくこの 4 年間は親元から離れ大変自由な学生生活でありテニスを通して友人関係を作れた素晴らしい時間だった。

薬剤師国家試験は無事にパス。



明治薬科大の軟式テニス部の仲間（2018.4）

ジャーナリストから医学部へ

しかし本来の調剤の仕事に就きたいとは全く思ってもいなかったのも、業界新聞社に就職し記者のような仕事についた。

ジャーナリストという響きのよい職業に憧れ、しばらく薬の取材や記事を書いたり新聞の割り付けをしたりしていた。

そんな頃、朝出勤まえになると、またいつもの生活が始まるこのままで良いのかと自問自答する

日々が続いた。

真剣に自分の将来の仕事として考えると、今の仕事は本当に自分の望んでいたことではないという思いがふつふつと湧いてきた。やはり当初の目的である医師への道を進みたい、と強く感じた。

しばらく悩んでから高校の恩師に電話で相談して背中をおされ、実家の父へ電話で相談。

父はくやるだけやってごらん>と言ってくれた。

明治薬科大を卒業して8か月仕事をして12月一杯で、退職翌年1月から群馬の実家に帰り受験勉強に取り組んだ。

食事と入浴以外はずっと炬燵で、本とノートにかじりついた。人生こんなに集中して勉強したことはなかったと言っても過言ではない。準備期間は2か月弱、寝ても覚めてもひたすら勉強。

高校生の時の、このくらいの勉強で受かるわという甘い気持ちではなく、今回は医師になりたいという強い強い気持ちがあった。やればできる、強い気持ちがあれば、道は開ける。このとき家族と、後に夫となるパートナーの応援があった。

そして道を切り開いた。

この努力して意思を貫く自分を作ってくれたのは、まぎれもなくテニスを通しての恩師の導きであったと思う。(中学時代、恩師の指導で県大会軟式テニスでの優勝を勝ち取っていた)

そして何よりも家族の理解と支えがあったからと感謝している。

後に父は、金を残すより人を残せと言っていた。

多分我が家は、4人の子供の学費と5人目となってしまう私の学費のために火の車状態だったと推察する。

本当にお父さんお母さん有難うございます。

医師として

東京女子医科大学入学、と同時に結婚そして出産、卒業。医師としての仕事と子育ての忙しい日々だった。

婦人科医として毎日が忙しく充実し、そして未知の世界だった。これこそ我が仕事と後悔は全くなかったが、どこかにしわ寄せは来ていた。

かつて結婚式の日、母から言われた注意を聞かなかった。

というのも、ゆっくり仕事をしなさい、子育て

が終わってからも仕事はできるから。

がむしゃらに仕事をしていたら、いつの間にか息子の不登校、そしてDV、離婚、自らの病気と・・・。

心も身体も人生最低ライン（ボトム）に落ちてしまった。

ボトムから救われたのは、やはりあの中学時代の精神鍛錬。

子供2人のかかえて生活を立てなおし、子供にも過度の期待をかけず好きな道を歩ませた。

ただ元気で生きくれば、母は嬉しいという気持ちで。

縁あって先輩のクリニックで研修を重ね、2005年に板橋に婦人科クリニックを開業した。

このときも、新たなパートナーの心強いバックアップがあった。

実家は群馬の開業医、私には開業医が性に合っている。

毎日の診療が楽しい、患者さんとの会話が楽しい、患者さん笑顔を見るのがうれしい、これこそ我が仕事。

幼い頃にたまたま入部したクラブ、そして恩師との出会い、支えてくれた家族。

目的をもって人生努力すれば、道は必ず開ける。あきらめない。

あの息子は今、ロンドンでメイクアップアーティストとして化粧品会社で勤務。

娘は34歳で医師になり（結局、私同様2大学卒）、今大阪で精神科医として双子の子育てと仕事に頑張っている。



家族の写真（還暦のお祝い、娘と息子）

そして私は、今 華やかに舞っている。



ダンスの写真（お相手は吉村成由先生です）



薬と健康の週間イベント ～おくすりフェスタ2019～ 報告

開催日時：午前 10 時～午後 3 時

1 階イーハトーブ広場

共 催：岩手県薬剤師会・岩手県病院薬剤師会・
岩手県医薬品登録販売者協会・岩手県
医薬品配置協議会・岩手県医薬品卸業
協会・岩手医科大学薬学部

岩手県薬学・薬事関係者懇話会事務局 畑澤 昌美

- ・テレビミニ番組（知って得する薬と健康ワンポイント・お薬豆知識）を大スクリーンへ放映
 - ・ポスター制作
- 1000部、会員薬局・病院薬剤師会ほか関係団体などへ郵送、イオンへ掲示依頼
- ・岩手日報広告 10月17日（社会面 全5段）
 - ・IBC ラジオ番組「おくすりフェスタ2019」
10月20日 11時～12時生放送
- アナウンサー：神山浩樹、甲斐谷望



○岩手県病院薬剤師会

(工藤会長・菊池(盛岡赤十字)・小原、佐藤(医大薬剤部))

- ・ 病院薬剤師会作成のポスター掲示
- ・ お薬何でも相談（岩手県薬剤師会と合同）
- ・ おくすりミニ講演会

「病院で働く薬剤師のお仕事」

講師：菊池 光太（盛岡赤十字病院薬剤部）

「チーム医療で活躍する薬剤部」

講師：小原 真美

(岩手医科大学附属病院薬剤部)

イベント内容

○岩手県薬剤師会

(畑澤会長・宮手副会長・押切理事・実務実習生 2 名・藤村事務員・畑澤 (昌))

- ・薬と健康の週間ポスター掲示
- ・お薬何でも相談（岩手県病院薬剤師会と合同）
- ・自殺対策（資材 各 200 部用意）
クリアファイル 140 枚・お薬ミニ百科 140 冊・
パンフレット 2 種各 150 部配布
ポケットティッシュ配布



○岩手医科大学薬学部

(三部薬学部長・那谷教授・佐塚教授・幅野準教・高橋教授・松浦教授・手塚助教・実務実習生ほか)

・薬学部進学相談

(三部篤薬学部長・那谷耕司教授)

・「心拍数をはかってみよう」(松浦誠教授)

・おくすりミニ講演会

「ドーピングって何? アスリートをまもる
スポーツファーマシスト」

佐塚 泰之(岩手医科大学薬学部医療薬科学
講座創剤学分野教授)

「アルコールの代謝から考える 薬の効き方
が違うのはなぜ?」

幅野 渉(岩手医科大学薬学部医療薬科学講
座薬物代謝動態学分野准教授)

「薬の飲み方」

高橋 寛(岩手医科大学薬学部臨床薬学講座
地域医療薬学分野教授)

来場者は概ね 200 名程度と思われます。

ミニ講演会はイーハトーブ広場だけではなく、吹き抜けになっている2階で聞いている方も多くいらっしゃいました。各先生には教室でのご講演と勝手が違ったと思いますが、午前から午後にかけて各3回のご講演は好評でした。また、各ブースでの活動も来場者やラジオ聴取者に対して、岩手県内の薬学・薬事関係者の活動内容を知っていただく良い機会となりました。ご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。



○岩手県医薬品卸業協会

(菅原理事長ほか メディセオ 5 名、バイタル
ネット 2 名、東北アルフレッサ 6 名、東邦薬品
4 名 計 17 名、養命酒 1 名、丸石製薬 1 名ほか)

・健康食品の試飲・試食・サンプル配布

(養命酒・メディセオ)

・脳内バランスー(認知度テスト)

(東北アルフレッサ)

・健康食品試飲・サンプル配布

(東北アルフレッサ)

・一般向け手洗い(消毒剤)紹介

(丸石製薬・東邦薬品)

○岩手県医薬品登録販売者協会(内藤 隆会長)

・登録販売者について パネル展示

○岩手県医薬品配置協議会

(和賀会長・中島・遠山・堀川・大橋 計 5 名)

・薬物乱用防止啓発 ポスター掲示、パネル展
示、パンフレット・チラシほか配布

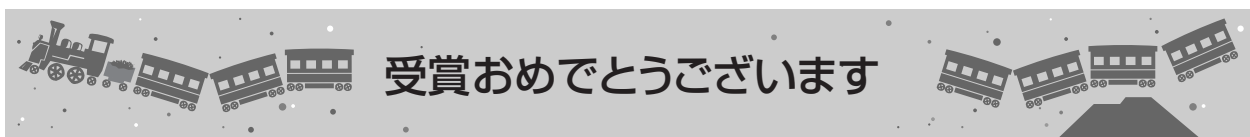
県央保健所から藤原薬剤師がサポートに
来ていただき(ポスター掲示、パンフレット・
ティッシュ配布)



会務報告



月	日	曜日	行事・用務等	場 所	参加者
10	1	火	県議会正副議長就任挨拶	岩手県薬剤師会館	会長
	2	水	日薬連 常任総務会	日本薬剤師連盟	会長
	3	木	日薬連 総括委員会	日本薬剤師連盟	会長
	6	日	自民党岩手県連総務会	アートホテル	宮手
	8	火	社会保険診療報酬支払基金岩手県支部幹事会	社会保険診療報酬支払基金岩手県支部	会長
			日薬 常務理事会	日本薬剤師会	宮手
	9	水	日薬連 組織強化委員会	日本薬剤師連盟	会長
	12	土	第3回都道府県会長協議会	山口県下関市	会長、宮手
			いわてチルドレンヘルスケア連絡会議設立総会	アイーナ	熊谷
	13	日	第52回日本薬剤師会学術大会（～14日）	山口県下関市	会長
	19	土	岩手県薬剤師会 多職種連携研修会	岩手医科大学矢巾キャンパス	
	20	日	薬と健康の週間イベント「おくすりフェスタ2019」	イオンモール盛岡	会長ほか
			タスクフォース練習会	岩手県薬剤師会館	
	21	月	薬事功労者厚生労働大臣表彰式	厚生労働省	金澤
	23	水	日薬 常務理事会	日本薬剤師会	宮手
	24	木	日薬連 常任総務会	日本薬剤師連盟	会長
			谷藤裕明市長を囲む2019ビアパーティー	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	宮手、畑澤(昌)
	25	金	日薬連 総括委員会	日本薬剤師連盟	会長
	27	日	岩手県薬剤師会・病院薬剤師会合同医療安全セミナー	岩手医科大学循環器医療センター	
	30	水	第5回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
	31	木	令和元年度 北海道・東北六県薬事情報センター連絡協議会	ホテルメトロポリタン盛岡	会長、熊谷、本田
11	3	日	第63回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（～4日）	岩手県薬剤師会館	
	6	水	第3回全国会長・幹事長拡大会議、藤井もとゆき君と語る会	東京會館	会長、宮手
	7	木	日本薬剤師会「成分から導き出す、適切なOTC医薬品の選択方法」研修会	日本薬剤師会	村井
			麻薬・覚醒剤乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働大臣表彰等伝達授与式	岩手県庁	横沢(和)ほか
	8	金	久慈地域介護支援専門員・薬剤師連携研修会	久慈市立中央公民館	熊谷、中田
			日薬 組織・会員委員会	日本薬剤師会	会長
	10	日	日本薬剤師会東北ブロック会議	コラッセ福島	会長ほか
			在宅医療における注射剤・栄養管理研修	岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター	
	11	月	病院診療所勤務薬剤師部会	岩手県薬剤師会館	
	13	水	日薬連 常任総務会	日本薬剤師連盟	
			岩手県保健医療功労者表彰式	エスポワールいわて	湊谷
	14	木	日薬連 総括委員会	日本薬剤師連盟	
	16	土	第5回理事会第4回地域薬剤師会会長協議会	岩手県薬剤師会館	
	17	日	薬学的管理業務スキルアップ研修	岩手医科大学矢巾キャンパス	
	18	月	令和元年度岩手県自殺対策推進協議会	エスポワールいわて	熊谷
	20	水	JADA Live On Seminar	岩手県薬剤師会館	
	22	金	優良商工従業員表彰	盛岡市民文化ホール(小)	木谷、中野
			奥羽大学職業研究セミナー	奥羽大学	熊谷
	23	土	高度管理医療機器等販売者継続研修	アイーナ	
	25	月	岩手県教育表彰（いわて教育の日の集い）	岩手県民会館(中)	
	26	火	日薬連 組織強化委員会	日本薬剤師連盟	会長
	27	水	日薬連 常任総務会	日本薬剤師連盟	会長
	28	木	日薬連 総括委員会	日本薬剤師連盟	会長
			一関薬剤師会在宅委員会研修会	ベリーノホテル一関	伊藤(貴)
	29	金	都道府県薬剤師会 アンチ・ドーピング活動 担当者研修会	日本薬剤師会	佐藤(大)
	30	土	盛岡薬剤師会忘年会	ホテルニューカリーナ	会長



令和元年度薬事功労者厚生労働大臣表彰

伝達式・令和元年10月21日（厚生労働省）



二戸薬剤師会
金澤 貴子 先生

麻薬・覚醒剤乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働大臣感謝状

表彰式・令和元年10月27日（岩手県庁）



気仙薬剤師会
横澤 和子 先生

麻薬・覚醒剤乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働大臣感謝状

表彰式・令和元年10月27日（岩手県庁）



久慈薬剤師会
佐藤和可子 先生



盛岡薬剤師会
川目 聖子 先生

岩手県知事表彰（保健医療功労）

表彰式・令和元年11月13日（エスポワールいわて）



宮古薬剤師会
湊谷 寿邦 先生



理事会報告



第5回常務理事会 令和元年10月30日（19：00～21：00） 岩手県薬剤師会館	
報 告 事 項	1 会務報告と今後の予定について 2 令和元年度会計の中間報告について 3 令和元年度第3回都道府県会長協議会について 4 台風19号による災害への対応について 5 かかりつけ薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業について 6 おくすりフェスタ2019について 7 岩手県薬剤師会・病院薬剤師会合同医療安全セミナーについて 8 保険薬局部会から 9 日本薬剤師会東北ブロック会議 10 岩手県薬業連携セミナーについて 11 その他
協 議 事 項	1 県薬職員の冬季賞与の支給について 2 研究倫理審査委員会の設置について 3 第71期臨時総会の運営について ①各事業所・部会・委員会の事業報告について ②令和元年度補正予算および令和2年度予算案の提出について 4 その他

第5回理事会・第4回地域薬剤師会会長協議会 令和元年11月16日（14：30～16：30） 岩手県薬剤師会館	
報 告 事 項	1 会務報告と今後の予定について 2 令和元年度第3回都道府県会長協議会について 3 台風19号による災害への対応について 4 かかりつけ薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業について 5 在宅医療人材育成研修について 6 「薬と健康の週間」の活動状況について 7 おくすりフェスタ2019について 8 岩手県薬剤師会・病院薬剤師会合同医療安全セミナーについて 9 第63回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成WSについて 10 薬学・薬事関係者懇話会・令和2年新年会について 11 保険薬局部会から 12 病院診療所勤務薬剤師部会から 13 会員の表彰について 14 その他
協 議 事 項	1 研究倫理審査委員会の設置等について 2 その他
地域薬剤師会会長協議会協議事項	1 令和元年度の県薬事業について ・自殺対策事業及び認知症対応力向上研修について ・令和元年度の地域薬剤師会活動報告について 2 意見・情報交換 ※各地域からの提案事項等 3 その他



委員会の動き



薬物乱用防止啓発事業推進委員会から

委員長 畑澤 昌美

平素は当委員会事業にご理解と御協力をいただきましてありがとうございます。

当委員会の事業方針を、①県民に対し、薬物乱用の害に関する正しい知識と薬の正しい使い方を啓発することにより、薬物乱用防止とセルフメディケーション推進を図ること。②「顔の見える薬剤師」の活動として、学校薬剤師や薬物乱用防止指導員等の活動を支援する。③地域薬剤師会の薬物乱用防止啓発に関する研修会等への講師派遣要請に対応する。④薬物乱用防止教室に関する資料の充実、として活動しております。

【今年度の事業】

I 薬物乱用防止啓発事業の実施

- (1) 薬物乱用防止啓発講座の講師については原則として学校の場合は当該校の学校薬剤師が、学校以外の場合は要請のあった地域の薬剤師が務める。
- (2) 事業の周知について
 - ・「薬物乱用防止啓発事業についてのお願い」を県学薬部会長から地域薬剤師会長・各学薬支部長へ周知依頼。
 - （地域教育委員会へは3月までに各学校薬剤師会支部長から周知を依頼する）
 - ・学校から直接県薬へ講師を指名し派遣依頼をされた場合も、当該校の学校薬剤師にも周知する。
 - ・事業手順は従来通り。
 - ・薬物乱用防止教室や出前講座などの実績を、情報センターから定期的に地域薬剤師会長、学薬支部長、薬物乱用防止啓発事業推進委員へ報告する。
- (3) 講師の養成について
 - ・薬物乱用防止教室について会員へ情報提供や研修会を行う。
- (4) 日薬などの全国レベルの研修会へ派遣（公募）更に支部からも参加者を出してもらう。参加

者から伝達講習をしてもらう。

II 研修会ほか

- ・薬物乱用防止啓発講座研修会（学校薬剤師部会と共催）を開催。
- ・岩手県教育委員会主催の研修会へ協力をする。

また、薬物乱用防止教室等に関する資料の充実を進める中で、小学校・中学校・高等学校で使用するパンフレットの見直しを進めております。

講演に関する資料として使用するパワーポイントは現在県薬で持っているものを活用していただきますが、アルコールや禁煙に関する資料に関して現在検討しております。

以上の様な活動予定ですので、どうぞよろしくお願い致します。

「ラグビーのまち釜石」で、アンチ・ドーピング アウトリーチを実施!

委員長 本田 昭二

待ちに待った、ラグビーワールドカップが釜石にやってきました。フィジー vs ウルグアイのド迫力の闘いはもちろん、ファンゾーンの盛り上がり、釜石市民のおもてなしが全世界に発信されたことは岩手県民として誇らしい気持ちになりました。

さて、当委員会では、この世界的イベントをアンチ・ドーピングを啓発する形で支援したい、と考え、アウトリーチを実施しました。

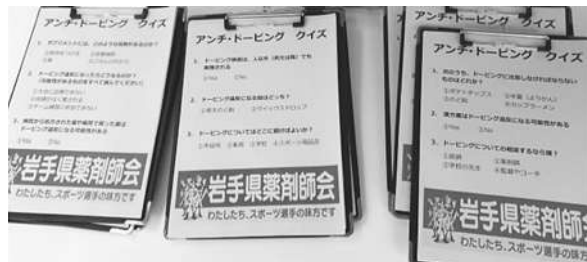
当初は、試合会場である、釜石鶴住居復興スタジアムでの実施を考えましたが、世界レベルのイベントのため不可能ということが分かり、その後、実施するための道を探り、ファンゾーン（大会公式のイベントスペース）に隣接した場所での実施に至りました。



大会が開幕して最初の日曜日である、9月22日（日）に、ファンゾーンの釜石市民ホール TETTO に隣接するイオンタウン釜石の入口付近に、日頃から連携している岩手県歯科医師会とテントを並べました（歯科医師会はマウスガード普及啓発）。



釜石市民の多くが訪れるイオンタウンとファンゾーンを往来する方々に、声をかけ、委員会オリジナルの「アンチ・ドーピング クイズ」（小学生用の簡単なもの、中高生や一般向けの合計3パターンを準備しました）にチャレンジしていただきました。



小雨交じりのあいにくの空模様でした、釜石の人気者である「なかぴー」にも協力してもらい、ジャスト 100 名の方にクイズに参加していただきました。



クイズを通して、「ドーピング違反になったらどうなるのか?」「病院から処方された薬や薬局で買った薬の中にはドーピング違反になるモノがある」「のど飴であっても、注意が必要」といったことを知っていただき、「ドーピングについては、薬剤師に相談する」「スポーツ選手は、薬を服用・使用する前に、購入する前に薬剤師に相談する」ことを少しは訴えることができたのでは、と推察するとともに、若年層から継続的な教育啓発の必要性を改めて体感しました。

アンチ・ドーピングに限らず、薬剤師の職能を広く県民に周知する活動は非常に重要でありますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、釜石薬剤師会の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

平素は当委員会活動への御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

去る令和元年10月27日、岩手医科大学循環器医療センターにおいて岩手県薬剤師会・病院薬剤師会合同による医療安全セミナーが開催されました。一題目の講演として岩手県立中央病院腎臓・リウマチ科科长中屋来哉先生から「ADPKD薬物治療の現状と課題」と題して多発性嚢胞腎の病態や治療について大変有意義なお話をお伺いすることができました。

次いでシンポジウムとなり、一人目のパネリスト、気仙中央薬局の金野良則先生から薬局の立場から医療安全への取り組み状況と今後の課題と題してお話がありました。薬局の業態特徴のご紹介、現在はかかりつけ薬剤師として患者に寄り添った働きが求められていること、かかりつけの成果で薬剤重複が多く発見されるようになってきていること、これからは薬局からのプレアボイドを進める必要があること、調剤時のみではなく、交付後の関わりが求められるようになること、そのためにはシームレスな病薬連携が必要になるとのご意見がございました。

二人目のパネリスト、岩手県立中央病院医療安全管理部長の大浦裕之先生からは「病院・保険薬局薬剤師に求められる医療安全への関わり～勤務医の立場から～」と題して3点の提言がございました。1点目はポリファーマシーへの関わりです。多剤併用で有害事象リスクが高まるのは周知のことですが、入院医療では持参薬となる他科の薬に介入しづらい、入院期間が短縮により減薬の評価ができない、入院期間中の減薬による業務負担があること等の理由により院内外の薬剤師の連携が重要であることのお話がありました。2点目は疑義照会の重要性です。重大な事象では処方否定の際2つほど代替処方の提案があると処方医は助かるそうです。3点目は医療安全に対する薬学的介入の話題でした。副作用の未然重篤化回避においては「薬剤師は最後の砦」であるとお言葉がございました。

三人目のパネリスト、岩手医科大学附属病院医療安全推進室の金野琴子先生は同施設における「医療安全専従」薬剤師でいらっしゃいます。移転となりました岩手医科大学附属病院の新しい施設の紹介も交え、院内薬局、施設での医療安全向上の実際の取り組みをご紹介いただきました。病棟各フロアでのカート装備の統一等参考になるご施設も多かったのではと思います。

意見交換ではポリファーマシーの疑義照会ハレ

ポート等で相談・共有しながら進めるような方法が良く、医師としてはルーチンワークから抜け出すきっかけとなるので積極的に言って欲しいとの意見、インシデント未満の「ゼロレベルレポート」は大事であること、エラー事例報告は「グッドレポート」であること、タスクシフト・シェアは情報共有となり医療安全に繋がるとのお話がなされました。

特別講演と致しましては「地域連携における医療安全－心理的安全性の重要度－」と題しまして近畿大学病院安全管理部教授・安全管理室長でいらっしゃる辰巳陽一先生の御講演をいただきました。今回は辰巳先生が主宰しておられる「南大阪医療安全ネットワーク」という地域の医療安全を担保する活動の中からお話をいただきました。地域包括ケアシステムにおいて「施設から在宅へ」といわれるところですが、付随する医療安全も「在宅までを安全に」する必要があること、リソースが多い大病院では担保されていた安全もマンパワーが少なくなっていく中小施設、地域で維持していくのは困難であること、補うために連携を始めてみても施設間での恥部晒しを嫌う秘匿性などにより情報共有も上辺となることが問題となること、等の提言をもとに、その垣根を乗り越えるのは地域における相互理解に基づく「心理的安全性」が確保されていなければならないとのことでした。「心理的安全性」はその集団の中での発言、意見交換等が、抵抗なく行われることが組織での安全性に寄与するとされているものです。今回の研修を通して、エラーと密接な「薬」に関わる薬剤師は多職種の中で医療安全という面でリーダーの役割を担うことのできる存在と感じました。医療安全は取り組みにくいですが、必須項目です。これから薬剤師の仕事は施設内では深く、地域においては広がっていきます。本研修会は薬剤師が地域において新しく貢献できる分野として医療安全への意識を高く持っていく必要があると感じられる良い機会となったと思います。

最後に御講演をいただきました辰巳先生、中屋先生、シンポジストを御務め頂きました大浦先生、金野琴子先生、金野良則先生、休日にも関わらずご参加いただきました会員の皆様に改めて御礼申し上げます。これからも疑義照会・インシデント事例報告を始め、岩手県薬剤師会医療安全対策委員会の活動は続いてまいります。会員の皆様におかれましてはより一層の御支援御協力をお願い致します。

岩手県立中央病院 薬剤部 吉田 俊之

ADPKD 薬物治療の現状に関する講演と医療安全をテーマとしたシンポジウム、特別講演という内容で行われましたので紹介いたします。

講演では中屋 来哉先生（岩手県立中央病院腎臓リウマチ科医師）からはどのように ADPKD の治療方針を決定していき、治療していくかを具体的にわかりやすく説明して頂きました。

シンポジウムでは保険薬局における医療安全に対する取り組み、病院・保険薬局薬剤師に求められる医療安全、医療安全専従薬剤師の活動について発表されました。保険薬局では 2018 年の診療報酬改訂で医療安全に関わる事が義務化され薬局に「医療安全」の文化を定着させる事が課題となっていますが、共に足並みを揃えて薬薬連携を長期的に行っていく事が患者の薬物による副作用リスク軽減に繋がっていき、今後もさらなる連携が必要であると考えています。また専従薬剤師の業務内容の紹介では、当院と同じ内容を行っている事がわかり安堵しました。

特別講演では辰巳 陽一先生（近畿大学病院安全管理部教授）から心理的安全性の重要度についてお話を頂きました。医療安全を行うにあたり心理的安全性の獲得、つまり「他人への心づかいや共感があり、言いたいことを言いあえる風土」が効率、効果的なものにつながる事を学びました。その獲得のための手法としてデイリーハドルというものがあります。毎朝、始業前のミーティングで自分のことを自由に話し、意見を言い合う事でメンバーの個人的な背景の相互理解を図れるという内容ですが、当院薬剤部では毎朝ミーティングの司会は、翌日の夜勤者が行い、最後に司会者から今日の目標等一言というコーナーが設けられています。まさしく「今日の目標」という模範解答をする先生もいればユーモア溢れる一言を言う先生もいて数々の朝が作られてきました。全員が大笑いし、明るい気持ちでミーティングを終えた時、一致団結した気分になれるのは私だけでしょ

うか。「上司に話づらい事を言ってしまうのはこういう時だよな。」とふと思いました。普段何気なく行っている事が医療安全に結びついていとは思いませんでした。今後も積極的に行う必要があると思いましたがこのデイリーハドルを行う上で注意点があります。それは、「シーン。。（発言後のスタッフの反応）」これでは司会者がどんなに気持ちを込めて発信したとしてもモチベーションが下がりむしろ物事を言いづらくなる環境になってしまいます。心理的安全性を獲得していくためには発信者の気持ちを汲み取りフォローしていく事がむしろミソではないでしょうか。

最後になりましたがこれからも「樂ができる場所」「馴れ合いの関係」ではなく自分の能力を最大限に発揮できる場で、耳の痛い指示やフォローをし合える環境になれるよう日々精進する所存でございます。

さあ皆さんもほんの少しの勇気を持ってフォロワーになってみませんか！

黄川田薬局 代表取締役 黄川田 聡太

10月27日に開催された岩手県薬剤師会・病院薬剤師会合同医療安全セミナーに参加させていただきました。シンポジウムでは薬局薬剤師、医師、病院薬剤師それぞれの医療安全の取り組みや実情について、特別講演では医療安全における心理的安全性の重要度についての話があり、様々な知識や考え方を得ることができました。

シンポジウム1「薬局の医療安全への取り組み状況と今後の課題について」では、気仙中央薬局の金野良則先生より、現在の薬局の状況や実際に行われている過誤対策や疑義照会の方法、薬局ブレアボイドの必要性などの話がありました。医療安全を薬局に定着させていくことがこれからの課題とのことでした。

シンポジウム2「病院・保険薬局薬剤師に求められる医療安全への関わり～勤務医の立場から」では県立中央病院の大浦裕之先生より、ポリファーマシーや薬剤総合評価調整加算などについての話がありました。保険薬局では患者さんの薬品数が多いと認識しても病院への連絡や提言できないことがある。現状のままでは薬局薬剤師の顔が見えないので、積極的に踏み込んだ提言を行ってほしいとのことでした。

シンポジウム3「薬剤師の職能を活かした医療安全活動の現状と課題について」では岩手医科大学附属病院の金野琴子先生より、医療安全推進室専従薬剤師としての院内の活動や薬品管理の取り組みについての話がありました。職種によっての問題意識が異なること、多職種でのミーティングの開催、マニュアル・手順書の定期的な見直しが今後の課題とのことでした。

特別講演「地域連携における医療安全 - 心理的安全性の重要度 - 」では近畿大学病院の辰巳陽一先生より、地域や施設で心理安全性を獲得するための考えや方策について話がありました。医療安全は研修会をすることだけが重要なのではなく、内容をきちんと咀嚼をして自分の施設のレベルに合わせる必要があるとのことでした。組織の心理的安全性を高めるためのリーダーの考え方や

コミュニケーションの取り方なども教えていただき、大変勉強になりました。

今回のセミナーの中で、薬局薬剤師の顔が見えない状態を指摘され、現在世間から薬局がバッシングを受けていることに繋がっているなど感じました。現状を変えていくためには、自分たちのしている仕事を患者さんや他職種の方に知ってもらわなければいけませんし、他職種の方の仕事に対しての理解も深めていく必要があります。相互理解を深めることによって、医療過誤やポリファーマシーの防止により貢献できるのではないかと思います。今後は医師・病院薬剤師に対して積極的に提言や報告を行っていくよう努力します。

辰巳陽一先生の講演を聞き、医療安全を管理者のみで進めていくのは困難なため、心理的安全性の高い組織を作り上げていくことが大事だと分かりました。組織内でのミスの報告や情報共有をきちんと行うために、お互いに分からないことは分からないと言える、問題点を指摘しあえる、誰でも発言できる環境を作らなければいけないので、今回学んだことを活かしてスタッフとのメンタルモデルの共有、現場のモチベーション向上、コミュニケーションの強化を図っていきたいと考えています。心理的安全性はリーダーの動き方が重要とのことでしたので、まず自分の意識や行動を変えてフォローシップを発揮し、自分の意図を理解したフォロワーが生まれる環境を作っていきたいと思っています。

大浦裕之先生から言われた「薬剤師に助けられている。」という言葉はとても励みになりました。「薬剤師は最後の砦。薬剤師にしか守れない命がある。」とも言われたので、現状で満足せず、患者さんの健康に不利益がないよう普段の業務の質を上げていくとともに、セミナーで学んだことを糧にしながら薬局内の医療安全の推進、地域の医療安全へより一層の協力をしていきたいと思っています。



地域薬剤師会の動き



北 上 薬 剤 師 会

会長 三浦 正樹

北上薬剤師会は本年度より新体制になりました。新しく北上支部の会長になりました三浦です。今後ともよろしくお願い致します。北上支部で最近あったイベントを2つご紹介いたします。

ラグビーワールドカップ、ウェルカムセレモニー

ラグビーワールドカップ、大変盛り上りましたが、北上市はウルグアイチームのキャンプ地として選ばれウェルカムセレモニーが開かれました。薬剤師会にも招待状が届きましたが平日、日中の開催だった為、会員の中から都合のつく人を募集したところ2名の方が手を挙げ参加してくださいました。

会場にはウルグアイカラー（水色）のダルマが用意されていて目を書き入れ、プレゼント交換が行われました（日本からは和紙製の鬼の面、ウルグアイからは盾。）その他、翔南高校生による鬼剣舞が披露され写真撮影などが行われたそうです。

ウルグアイ代表は釜石で対フィジー戦に勝利し盛り上がりました、北上駅前の通りものぼり旗でいっぱいです。



リレー・フォー・ライフ・ジャパンきたかみ

"リレー・フォー・ライフ"は、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんに向き合い、がん征圧を目指す、一年を通じて取り組むチャリティ活動です。一年の活動の集大成としてリレーイベントが行われます。（ホームページより抜粋）



8/31-9/1 みちのく民俗村においてこのリレーイベントが行われました。“がん患者は24時間がん向き合っている”という想いを共有し支援するために24時間交代しながら夜通し一周240mの民俗村のコースを歩きます。夕方からはルミナリエといって白い紙袋にメッセージを書いてあかりを灯します。夜間に参加しましたが天気恵まれ全くの無風で暑くもなく、静まり返る会場に元気が出るようなBGMがかすかに流れる中を黙々と歩いてきました。朝方から参加された“がんサバイバー”だという参加者と一緒に歩きながら、がん治療やこれからの医療への希望などを聞くことが出来てとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。



↓一周したらこのボタンを軽く叩くとベルが鳴ってカウントされます。



今回は3会場（きたかみ、みやぎ、いわて）で開催され参加者が歩いた距離の合計で、日本から発祥の地シアトルまでの距離7,400kmを達成しよう！というチャレンジをしていて、なんと見事

達成されました、すごいです！

北上支部では新しい体制になりましたが、各方面でベテランの役員が多くみんなで支え合いながら発展させて行けるような組織を創っていきたいと思います。基幹病院との連携はもちろんですが、市役所、保健所などのイベント（会議もたくさんありますが）に薬剤師が不在にならないよう、出来る人が出来ることで参加して薬剤師の存在をアピールし、薬剤師会としての役割を果たしていければと思っています。

活動目的は、会からの情報伝達及び会員間の情報交換の活性化・薬剤師としての知識技能の習得及び向上を図るための研修会の開催、地域関係団体との医療連携の構築により、在宅医療への参画を目指し、健康な社会作りに貢献することとしました。

令和元年度の久慈薬剤師会の活動の一部を紹介させていただきます。

【1】薬剤師会総会について

平成から令和へと新しい時代となり、あたふたしているうちに、総会の日を迎えることになりました。

令和元年5月30日（木）、定刻通り、久慈グラントホテル1F「桐花の間」において総会を開催いたしました。出席者数は本年度会員45名のうち、本人出席23名・委任状出席14名、例年どおりの出席者でした。

小向会長の挨拶の後、ご来賓の岩手県薬剤師会会長畑澤博巳先生より、ご祝辞を賜りました。議長は賛成多数で福本優悟先生が議長に選任されました。

司会進行役新淵純司先生より挨拶の後、議案の審議に入りました。報告事項（平成30年度事業報告・会計報告・監査報告）、協議事項（令和元年度事業計画〈案〉・収支予算〈案〉）について、事務局担当理事が内容を説明し、満場異議なく承認・可決されました。

その後、2F「シーガールーム」へ場所を移し、歓迎懇親会を行いました。新たに入会された先生との交流を深められたと思います。

【2】学術講演会・研修会について

疾病と病態を理解した上で、治療薬に対する理解を深めることが大切です。月1～2回の割合で、医師会・歯科医師会との共催による学術講演会を開催しています。

10月16日（水）久慈保健所所長鈴木宏俊先生と保健課主査保健師糠盛里実先生をお招きして、自殺対策を担う人材養成（ゲートキーパー）研修

会を開催しました。（参加人数は14名）

久慈地域は、自殺死亡率が高い地域です。悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤立・孤独」を防ぎ、自殺の危険性が高い人を必要な相談機関につなぐことが重要だと思いました。



保健所所長 鈴木様



保健所 糠盛様



小向会長



研修会の様子

11月には、介護支援専門員・薬剤師連携研修会を行います。地域包括ケアシステム構築の実現に向けての第一歩です。

薬剤師も地域包括ケアシステムの実現に力を発揮することが求められており、多職種の連携はもちろん、患者様の立場になり、様々な角度から患者様をサポートしていかななくてはなりません。

これからも、様々な研修会を開催して、幅広い知識の習得と薬剤師の資質向上していかなければなりません。いくつに積極的に学び続ける姿勢を持ち続けていきたいと思っています。



検査センターのページ



職場体験学習の受け入れを終えて

(一社) 岩手県薬剤師会検査センター所長 嶋 弘一

検査センターでは、学校での理科実験が減少している中、青少年に化学に対する興味を持ってもらうため、岩手山青少年交流の家が実施している中学校総合的な学習の時間「職場体験学習」イーハトーブに働く大人に学ぶ～未来の君へ～の職場体験受け入れ可能事業所リストに掲載させていただいています。

今年度、北上市立北上北中学校2年生5名が9月26日、27日に来所し、次の日程で職場体験をしていただきました。

	時間	詳細
9/26	9:30 ～ 9:50	センターの業務紹介
	9:50 ～ 10:50	手洗い・井戸水等の細菌培養検査
	11:00 ～ 13:50	製麺で使用する「かん水」の規格検査
	14:00 ～ 15:00	河川水の溶存酸素測定
9/27	9:30 ～ 10:30	培養した細菌の確認 グラム染色・検鏡
	10:40	水道水の臭気、軟水・硬水の味、残留塩素測定など

業務紹介では、検査センターは薬剤師会が運営していること、飲料水水質検査、事業場排水検査、公共用水水質検査、室内環境測定、食品栄養成分検査、細菌検査など様々なものを検査していることを説明しました。



食品分析課では、「かん水」の規格試験の項目のうち、確認試験の炭酸塩と純度試験の水酸化アルカリ・ケイ酸塩・塩化物・重金属の検査を体験していただきました。

かん水は、製麺の時に使用されるものであることや、北上市にも製造している企業があることなどを説明しました。

細菌検査では、手洗い実験や井戸水等の一般細菌数や大腸菌の検査を行い、翌日、発育した細菌を染色して顕微鏡観察や培養した井戸水等に紫外線を当てて青白い蛍光の有無を確認して大腸菌の判定を行いました。

手洗い実験では、様々な場所に触った状態のままの手や、水洗いした手、手洗い後にアルコール消毒をした手を検体として寒天培地に押し付けて培養しました。手洗いを行わない手を押し付けた培地では、培地全体が菌に覆われてしまい、手洗いの大切さを感じ取っていました。



環境分析課では、どのような検体の検査を行っているかの説明を行った後、各自が河川水を用いて溶存酸素濃度をウインクラーアジ化ナトリウム

変法で測定しました。フラン瓶に検水を取り、試薬を入れて固定を行った後、酸性にして遊離したよう素をビュレットで滴定を行いました。初めての滴定でしたが、滴定値から溶存酸素濃度を計算してもらったところ、5名とも類似した値となることができました。

また、試薬を入れるたびに起きる反応に歓声を上げていました。



水質分析課では、水道法の水質基準等について説明を行った後、ミネラルウォーターのペットボトルに記載されているカルシウム・マグネシウムの値を用いて硬度を計算してもらい、軟水か硬水かを考えてもらいました。

その後、仙人秘水・龍泉洞の水・evian・contrexの味を比べてもらいました。

口に含んだ水のうち、Contrexだけは口に合わず、すぐに吐き出していました。

臭気の検査では、カビ臭と金気臭を体験してもらいました。

カビ臭の検水を嗅いだ生徒は、嗅いだ瞬間、「くさい」と声を出していました。

残留塩素の測定では、採水した水道水に試薬を入れてピンク色に発色したことで、塩素消毒されていることを確認しました。



今回の職場体験学習を通じて、生徒たちに化学の楽しさを伝えることができたのではないかと思います。また、職員にとっても貴重な経験になったと考えております。

検査センターでは、今後とも職場体験学習受け入れ施設としての登録やいわて環境学習応援隊等を通じて広く県民に当センターの業務を知っていただく機会を広げていきます。

先日は、お忙しい中たくさんの事を
教えていただきありがとうございました。
実際に色々な検査を体験したり、仕事
について質問したりして貴重な経験を
することができました。
特に手の菌についての検査が楽しかった
です!!
名前 [REDACTED]

今回は、さまざまな検査のしかたを
体験できていただきありがとうございました。
水道水質検査など普段はできない事
を体験することができ、とても楽しくたくさん
学ぶことができました。職場体験でした。
今回の体験を通し、自分の道路を見つめ直したい
と思います。今回は、幸運と迎えたいです。本当に
ありがとうございました。名前 [REDACTED]



藤井もとゆき国会レポート

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき



薬機法改正法案の審議スタート

台風 19 号による記録的な大雨により、多数の死傷者や家屋の倒壊・浸水等、甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

さて、200 回臨時国会が召集されて一月が経過しました。先の通常国会で継続審議となっていた薬機法等改正法案は、11 月 6 日の衆議院厚労委員会において審議が再開されました。また、参議院の厚労委員会においても、10 月 29 日に加藤厚労大臣の所信を聴取し、11 月 7 日に大臣所信等に対する一般質疑を行いました。

加藤大臣は所信の中で薬機法等改正法案について、国民のニーズに応える優れた医薬品等を迅速かつ効率的に提供するための「先駆け審査指定制度」「条件付き早期承認制度」の法制化が必要なこと。及び、住み慣れた地域で患者が安心して医薬品が使用できるよう、薬剤師による継続的な服薬指導の義務化などが必要であることから、本法案の早期成立を求めました。また、革新的な医薬品・医療機器等の開発を促進するための環境整備に取り組むとともに、ベンチャー企業への支援を実施するとしています。

この他、健康寿命の延伸のため、「第 2 次健康日本 21」に基づき、疾病の発症予防や重症化防止に取り組むとともに、保険者による特定健診・保健指導や糖尿病の重症化予防を進めること。ゲノム医療・AI 等の最先端技術の活用など、データヘルス改革を戦略的・一体的に推進することも表明しました。

薬機法等改正法案の早期成立に努めていくとともに、医療提供の充実に引き続き尽力して参りたいと思います。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>



薬連だより



本田あきこオレンジ日記

厚生労働委員会・議院運営委員会・ODA特別委員会 委員
自民党女性局次長・厚生関係団体委員会副委員長
参議院議員・薬剤師 本田顕子



スポーツファーマシストの活用

東京オリンピック・パラリンピックの開催が、いよいよ来年に迫ってきました。オリンピックを日本が招致できた理由の一つに、日本がドーピングにクリーンな国であることが挙げられたと聞いています。これまでオリンピックが閉幕すると、ドーピング違反でメダルをはく奪されたとのニュースを目にすることがありますが、我が国選手のオリンピックでの違反事例はほとんど聞いたことがありません。

我が国のアンチ・ドーピング対策は、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が担当しています。JADAでは、薬剤師にドーピング防止活動に参加してもらおうと、「公認スポーツファーマシスト認定制度」を創設し、認定者は約1万人になったと聞いています。私は、小・中学校時代にバドミントン部に属していたことからスポーツに関心があり、スポーツファーマシストの認定を受けています。

ところで、自民党には、様々な部会、調査会等があり、私も時間の許す限り多くの会議に参加し、勉強をしております。10月末に開催されたスポーツ立国調査会・スポーツビジネス小委員会合同会議では、安全・安心なスポーツに向けた現状と課題に関してスポーツ関係団体からのヒアリングが行われました。その会議で、スポーツファーマシストについて説明させていただき、その活用について他の議員から後押しの発言をいただきました。

また、日本薬剤師会は、本年2月に「アンチ・ドーピング活動保険」を導入されたと聞いております。ドーピング禁止薬に関する問い合わせに、安心して対応していただき、薬剤師の新たな機能を発揮していただきたいと思います。



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋



@89314honda



最近の話題



フレイル・オーラルフレイルをご存じですか？ ～多職種連携研修会を開催～

政府は、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」（骨太方針 2019）を6月に閣議決定しました。薬剤師は、医療の担い手の一員として、そして、薬局という医療提供施設において、その使命・責務を果たしつつ、骨太方針で掲げられた目標達成に向けて積極的に取り組んでいかなければなりません。

特に、国民・患者のためのより良い医療提供体制の実現に向けて、疾病予防・重症化予防・健康づくりのための取り組みを含め、かかりつけ薬剤師の普及をはじめセルフメディケーション推進の中で健康サポート薬局の普及は不可欠であり、これらをより一層かつ可及的速やかに進めなければなりません。

また、地域包括ケアシステムを構築・推進していく上で、高齢化に伴う疾病等への対応は喫緊の課題であり、平成30年4月に公表された「岩手県保健医療計画」においても、フレイル及びオーラルフレイル予防に向けて、多職種で連携して取り組むことが求められています。

そこで、健康サポート薬局研修修了薬剤師フォローアップ研修会と位置付けて、「多職種連携研修会を開催しました。

岩手県薬剤師会 多職種連携研修会

～健康サポート薬局研修修了薬剤師フォローアップ研修会～

日時：令和元年 10月19日(土) 15時～18時

会場：岩手医科大学矢巾キャンパス西2-A 講義室

内容：1. 高齢者のフレイル対策

～適切な支援に向けた多職種連携について～

公益社団法人 岩手県栄養士会

会長 澤口 眞規子 氏

2. 歯と口の健康づくり

～オーラルフレイルを予防するためには～

一般社団法人 岩手県歯科医師会

会長 佐藤 保 氏

澤口眞規子栄養士会長からは、地域包括ケアの鍵となるのは栄養と食事であるとして、高齢者の栄養状態を把握することの重要性、嚥下や咀嚼と栄養状態の関係性を説かれたうえで、フレイル予防に向けて、「サルコペニア」チェックや食事の摂り方について講演いただいたほか、薬局窓口での栄養スクリーニングを提案いただいた。

フレイル予防の3本柱



続いて、佐藤保歯科医師会長からは、「オーラルフレイルは、全身のフレイルの1つであり、健康と機能障害の中間に位置するが、改善の取り組みによって、健康改善が図れる」、「高齢者はもちろん、すべての年代の問題として、口腔機能の低下を見逃さないことが大切」とであるとして、フレイル及びオーラルフレイル予防に向けて、多職種連携の推進の重要性を述べられた。

オーラルフレイルとは？



フレイル

加齢とともに、心身の活力（例えば運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の 併存の影響もあり、生活機能が障害され心身の脆弱化が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像。（「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン暫定版」厚生労働省）

オーラルフレイル

口腔機能の軽微な低下や食の偏りなどを含む、身体の衰え（フレイル）の一つであり、「加齢に伴うさまざまな口腔環境及び口腔機能の変化、さらに社会的、精神的、身体的な予備能力低下も重なり、口腔機能障害に対する脆弱性が増加した状態」

（文責：専務理事 熊谷明知）

「在宅医療における注射剤・栄養管理研修」を開催しました！

当会では、平成 27 年度から、「日常生活圏域において構築される地域包括ケアシステムにおいて、薬剤師が地域におけるチーム医療の一員としての役割を担うことができるよう、地域包括ケアシステムに関する理解の促進や、在宅医療で必要となる臨床手技等に関する研修会を開催することで、在宅医療に従事する薬剤師の増加、多職種連携の推進を図る」ことを目的とする在宅医療人材育成研修事業を受託実施しておりますが、本事業の一環として、標記研修会を実施しました。

在宅医療における注射剤・栄養管理研修

日時：令和元年 11 月 10 日(日) 10 時～16 時

会場：岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター

内容：1. こんな薬剤師と一緒に仕事がしたい！

～訪問看護師の薬剤師への期待～

岩手医科大学看護学部地域包括ケア講座

教授 宮本 郁子 氏

2. 薬局で調剤した薬が患者宅でどのように投与されているかご存知ですか？

岩手医科大学薬学部臨床薬学講座地域医療薬学分野

教授 高橋 寛 氏

3. 知っておきたい在宅医療の栄養療法と医療機器・医療材料

東邦薬品株式会社メディカルグループ在宅機器推進チーム

課長 清水 訓 氏

4. 「医療的ケア児」を知っていますか？

一般社団法人青森県薬剤師会 会営青森第一調剤薬局

福田 ひかる 氏

1. こんな薬剤師と一緒に仕事がしたい！

～訪問看護師の薬剤師への期待～

在宅医療の要とも言える在宅看護の現状と薬剤師との関わりについて、在宅看護学実習での事例を通して紹介いただくとともに、在宅での医薬品管理や医療資機材の供給における薬剤師との更なる連携の必要性を訴えられた。



(看護師との関わりについて受講者に尋ねる宮本氏)

2. 薬局で調剤した薬が患者宅でどのように投与されているかご存知ですか？

日頃、経腸栄養剤を渡す、嚥下困難者や胃瘻造設された方に粉碎調剤する、ということは当たり前のように行っているわけですが、渡した薬を患者がどのようにして服用しているか（体内に入れているか）については、薬局店頭ではうかがいられません。そこで、普通錠や口腔崩壊錠を水に溶かしてみる、簡易懸濁を想定して温湯に錠剤を溶かしてみる、胃瘻等にチューブを通して薬を注入することを想定してシリンジを使って注入する、経管栄養シミュレータを用いて注入した薬の流れを観察するという体験をしてもらいました。体験を通じて、そのような処方された場合に、どのような情報が必要なのか、患者や家族にどのような情報を提供する必要があるのか、ということを考えていただきました。



(シリンジに入れた薬液をチューブに通してみる)



(シミュレータで薬がどのように流れるかを確認)

3. 知っておきたい在宅医療の栄養療法と医療機器・医療材料

医療機器のレンタル業者として患者宅に赴き、療養支援を行っている清水氏から、次の内容について説明いただいたうえで、受講者は実物を接

続、操作した。

- ・医療材料の取扱いについて
- ・在宅医療における栄養剤や医療材料を含む処方箋や払出について
- ・在宅医療における経腸栄養や中心静脈栄養法、疼痛管理で使用する資機材について



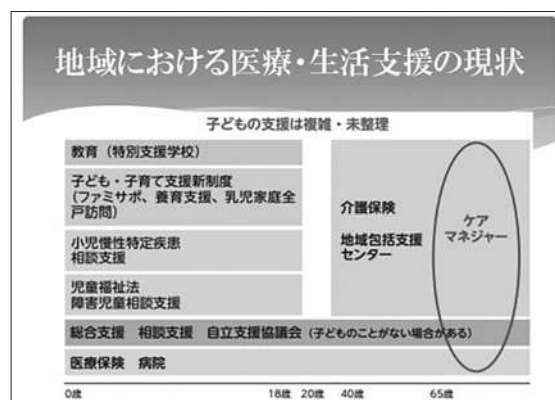
(資機材の接続・操作について説明する清水氏：右端)

4. 「医療的ケア児」を知っていますか？

6年制卒の薬剤師である福田氏が訪問している患者と、薬剤師として、また、人として、医療的ケア児やその家族、そして、取り巻く環境とどう向き合い、取り組んでこられたのかについて5年間の記録を通して紹介いただくとともに、今後の展望について述べられ、「医療的ケア児に対するサポートはご家族の想い、子どもたちの未来を私たちはしっかり汲み取って、それぞれの家族の形に応じた柔軟な支援が構築できればいいなと考えています。」と締めくくられました。

医療的ケア児

呼吸・食べる・排泄するなどの機能に障害があり、医療的ケアを日常的に必要とする子ども



医療的ケア児に対する今後の展望

- ・母親の次に、子どもの世話ができるスタッフを地域で養成し、そのスタッフが自宅、外出、保育園、学校など場所にとらわれずに支援できる仕組み
- ・助成制度やサービスの構築
- ・小児在宅医療の啓蒙、サポート体制
- ・医療的ケア児や小児在宅医療の担い手作り
- ・家族やきょうだいへの負担軽減
- ・育ちに配慮した対応
- ・母親の就労支援
- ・小児医療から成人医療への移行
- ・親亡き後のサポート



(福田 ひかる 氏)

受講者から、「患者がどのように投与しているかを確認すること、投与方法を踏まえた助言を行っていきたい」「医療機器や材料を手にとって学べて良かった」「医療的ケア児について知ることができて良かった」という感想を多くいただいたほか、「医療的ケア児と関わり尽力している薬剤師がいることに感謝」という意見もありました。今回、いただいた意見を参考にして、今後の開催に向けて検討していききたいと思います。

最後になりますが、講師をはじめ、研修会開催にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。

(文責：専務理事 熊谷明知)

質問に答えて

Q. インフルエンザの予防について

岩手医科大学附属病院 薬剤部
稲垣 学人、於本 崇志、森 薫、佐藤 文彦

【はじめに】

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症であり、世界中で毎年流行がみられています。通常、本邦では、初冬から春先にかけて流行します。その多くは自然に治癒しますが、合併症（肺炎、気管支炎、脳症、心筋炎等）を併発して重症化し、生命に危険が及ぶ場合があります¹⁾。

インフルエンザの健康や社会に与える影響は大きいので、予防策を講ずることが重要です。本稿では、インフルエンザ予防について、感染源対策・感染経路対策・感受性対策の観点から述べたいと思います。

【① 感染源対策】

感染源とは、病原体（細菌、ウイルス等）を持つ人・生物、汚染された環境・物品等をいいます。感染源対策は、感染源を持ち込まない・増やさないために、換気や洗浄・消毒の実施、有症状者の早期発見・早期治療を行うことが重要です²⁾。

【② 感染経路対策】

感染経路とは、病原体が体内に侵入する経路のことであり、接触感染、飛沫感染、空気感染等が挙げられます。

インフルエンザは飛沫感染及び接触感染する病原体であり、環境を介した間接的な接触によっても伝播するため、接触者に飛沫を付着させないことが予防の基本となります。有症状者は「咳エチケット」としてマスクを着用し、周囲との距離を1～2 mとすることが重要です。また、手指衛生等も組み合わせて行うことも推奨されます²⁾。

インフルエンザ予防は個々の対策が基本であるため、啓発ツールを用いて周知することも重要です（図1）。

手指衛生とマスクの使用が、インフルエンザの家庭内二次感染を防ぐかどうかを調査したランダム化試験では、患者の症状発現から36時間以内に対策が実施された場合、インフルエンザウイルスの家庭内感染を防ぐ（adjusted odds ratio, 0.33 [95% CI, 0.13 to 0.87]）とされており⁴⁾、予防対策の重要性が示されています。

医療機関や介護施設等で感染の拡大を防ぐためには、標準予防策（スタンダードプリコーション）



図1 インフルエンザ予防啓発ポスター³⁾

を普段から意識して行う必要があります。また、大規模な感染拡大を防ぐために、サーベイランスを強化して、早めに拡大防止策をとる必要があります。

【③ 感受性（宿主）対策】

感受性対策には、ワクチン接種による免疫の獲得や、抗インフルエンザ薬予防投与等の対策があります。また、運動、栄養、休養、睡眠といった基本的な生活習慣の励行も対策として挙げられます²⁾。

③-1 インフルエンザワクチンについて

インフルエンザに関する特定感染症予防指針では、「インフルエンザについては、予防接種が最も基本となる予防方法であり、個人の発病や重症化の防止の観点から、予防接種を推進していくべきである。」⁵⁾とされています。

インフルエンザは、インフルエンザワクチン接種を行うことで、発症そのものを完全に防ぐことはできませんが、罹患しても症状の重症化を抑えることができ、合併症併発による死亡の危険性が抑えられます^{1,6)}。

○インフルエンザワクチンと妊婦・授乳婦

妊婦への生ワクチン接種は禁忌ですが、不活化ワクチンに分類されるインフルエンザワクチン接種は可能と考えられています。産婦人科診療ガイドライン産科編2017では、「妊婦へのインフルエンザワクチン接種はインフルエンザの重症化予防に

最も有効であり、母体および胎児への危険性は妊娠全期間を通じて極めて低い」とされています⁷⁾。

授乳中の女性への予防接種は、「生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイドのいずれのワクチンも、授乳期に安全接種可能と考えてよい」とされています⁸⁾。

○インフルエンザワクチンと鶏卵アレルギー

インフルエンザワクチン(不活化HA ワクチン)は、発育鶏卵の尿膜腔で増殖させたインフルエンザウイルスを原材料として製造されています。近年は高度に精製されていますが、ごく微量の鶏卵由来成分が残存し、これによるアレルギー症状が稀に起こることがあります¹⁾。

しかし、鶏卵アレルギーの人がすべてワクチン接種不可というわけではありません。「接種要注意者(接種しようとする接種液の成分に対して、アレルギーを呈する恐れのある者)」に分類されるため、有益性を考慮し、十分な説明と同意の上、投与可能です。

○インフルエンザワクチンとがん化学療法

コ克蘭のシステマティックレビューによると、「現時点で得られているエビデンスは弱いですが、成人がん患者へのインフルエンザワクチン接種は有益であり、害はないことを示唆している。」とされています⁹⁾。

ワクチン接種時期については、化学療法開始前(少なくとも2週間前)の実施が望ましいとされていますが、化学療法の途中にインフルエンザの流行期を迎えた場合には、接種のタイミングを工夫する必要があります。治療中の接種時期に関しては、骨髓機能の最下点(nadir)の時期を避けて接種することが望ましいとされています¹⁰⁾。

ただし、一部抗がん剤(リツキシマブ等)の治療中あるいは治療後6ヵ月の間はワクチンの効果が期待できないという報告¹¹⁾もあるため、注意が必要です。

○インフルエンザワクチンとがん免疫療法

免疫チェックポイント阻害剤(抗PD-1抗体等)を利用した免疫療法は、従来の抗がん剤治療とは異なり、免疫応答を増強させることで効果を発揮します。しかし、がん細胞に限らず免疫応答してしまう場合があり、免疫関連有害事象(irAE)が生じることがあります。

がん患者はハイリスク集団ですので、インフルエンザワクチン接種は基本的に推奨されていますが、免疫療法を施行している場合のインフルエンザワクチン接種に関する情報は明らかではありません。

抗PD-1抗体投与中の肺癌患者に3価の季節性インフルエンザワクチンを接種した場合、irAEがより高頻度(52%)に発現し、うち約半数がGrade3以上であったという報告がありました¹²⁾が、23例と小規模の非ランダム化試験でした¹²⁾。

インフルエンザ流行期間中、2週間隔でニボルマブ3mg/kgを投与した肺癌患者(127例)を対象としてirAE発現率を調査した報告によると、ワクチン接種(42例)および非接種患者(85例)におけるirAE発現率はそれぞれ26%、22%であり、発現率比は1.20[95% CI, 0.51 to 2.65]でした。重篤なirAE発現率はそれぞれ7%、4%であり、発現率比は2.07[95% CI, 0.28 to 15.43]でした。また、ニボルマブ投与中のインフルエンザワクチン接種による、治療中止率、死亡、臨床的増悪、腫瘍縮小率の有意な差は認められなかったとしています¹³⁾。

これらを踏まえると、がん免疫療法施行中のインフルエンザワクチン接種は、個々の患者でリスク・ベネフィットを評価し、十分な説明の上で投与する必要があると思われます。現時点では限られた報告しかいないため、今後さらなる検討が望まれます。

③-2 抗インフルエンザ薬の予防投薬について

インフルエンザ予防の基本はワクチンですが、抗インフルエンザ薬による予防も可能です。

本邦において、ノイラミニダーゼ(NA)阻害薬のオセルタミビル、ラニナミビル、ザナミビルは、保険適応がなく自由診療となりますが、予防投薬が承認されています。また、キャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬のゾフルーザについては、2019年10月16日に予防投薬の適応追加申請が発表されています(表1)。

NA阻害薬による予防の対象者は、原則、高齢者(65歳以上)、慢性呼吸器疾患または慢性心疾患患者、代謝性疾患患者(糖尿病等)、腎機能障害患者等のハイリスク患者です。

インフルエンザ患者が発生した場合、同室者や発症前に同じ場所で一緒に過ごした時間が長い場合も、予防投与の対象となります。さらに、同一の空間を利用した場合も予防投与が考慮されます。

予防投与に禁忌はありませんが、耐性ウイルス出現の可能性を否定できないため、安易な使用は避けた方が無難とされています⁶⁾。抗インフルエンザ薬予防投与の必要性を正しく判断し、適正に使用されることが望まれます。

抗インフルエンザ薬を予防投与する場合、アドヒアランスの向上も重要です。正しく使用しなければ、期待する効果が得られない可能性があります。

【おわりに】

インフルエンザ感染をゼロにすることは困難ですが、予防策を講じることで、感染の拡大や重篤化を防ぐことができます。

インフルエンザ流行期の最中、いま一度感染源対策・感染経路対策・感受性対策について確認し、実践していくことが重要です。

表1 主な抗インフルエンザ薬（各添付文書等より作成）

一般名	バロキサビル	オセルタミビル	ラニナミビル	ザナミビル	ペラミビル
【製品名】	【ゾフルーザ】	【タミフル】	【イナビル】	【リレンザ】	【ラビアクタ】
投与経路	経口		吸入		点滴静注
作用機序	キャップ依存性 エンドヌクレアーゼ阻害		ノイラミニダーゼ阻害		
用法・用量 (治療)	単回	1日2回 5日間	単回	1日2回 5日間	単回 (症状に応じて連日 反復投与可能)
	12歳以上： 通常 40mg 体重80kg以上 80mg 12歳未満： 体重40kg以上 40mg 体重20-40kg 20mg 体重10-20kg 10mg	成人：1回 75mg 幼小児：1回 2mg/kg (1回 75mgまで) 新生児・乳児： 1回 3mg/kg (1回 75mgまで)	10歳以上： 40mg (2容器) 10歳未満： 20mg (1容器)	1回 10mg (2プリスター)	成人：300mg 小児：10mg/kg (600mgまで増量可能)
予防投薬の適応 (保険適応外)	△※1	○	○※2	○	×
	未承認	成人・小児：1日1回 成人：75mg 7～10日間 幼小児：2mg/kg (1回 75mgまで) 10日間	10歳以上： 40mg (2容器) 1回 10歳以上は20mg 1日1回、2日間吸入も可 10歳未満： 20mg (1容器) 1回	成人・小児： 1日1回 10mg 10日間	未承認

※1 ゾフルーザ：2019年10月16日に予防適応の追加承認申請を発表

※2 イナビル吸入懸濁用160mgセット：予防投薬の適応なし

《参考文献》

- 一般社団法人日本ワクチン産業協会，他・編：予防接種に関する Q&A 集 2017
- 鈴木宏，他・編：インフルエンザの最新知識 Q&A 2012～パンデミック H1N1 2009 の終焉を迎えて～
- 厚生労働省公式ポスター（2017 年 11 月 15 日）
(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/poster29.pdf>)
- Cowling BJ, et al : Facemasks and hand hygiene to prevent influenza transmission in households:a cluster randomized trial. Ann Intern Med. 2009 ; 151 : 437-46.
- 厚生労働省：インフルエンザに関する特定感染症予防指針
- 日本臨床内科医会インフルエンザ研究班 編：インフルエンザ診療マニュアル 2018-2019 シーズン版（第 13 版）
- 日本産科婦人科学会，他・編：産婦人科診療ガイドライン産科編 2017
- 伊藤真也，他・編：薬物治療コンサルテーション 妊娠と授乳改訂 2 版
- Cochrane Database of Systematic Reviews 2018, Issue 2. Art. No.: CD008983.
- 日本乳癌学会 編：乳癌診療ガイドライン 2018 年度版
- Yri OE, et al : Rituximab blocks protective serologic response to influenza A (H1N1) 2009 vaccination in lymphoma patients during or within 6 months after treatment. Blood. 2011 ; 118 : 6769-6771.
- H Läubli, et al : Influenza vaccination of cancer patients during PD-1 blockade induces serological protection but may raise the risk for immune-related adverse events. J Immunother Cancer. 2018 ; 6 : 40.
- Wijn DH, et al : Influenza vaccination in patients with lung cancer receiving anti-programmed death receptor 1 immunotherapy does not induce immune-related adverse events. Eur J Cancer. 2018 ; 104 : 182-187.



病態薬理学講座薬剤治療学分野

岩手医科大学薬学部病態薬理学講座
薬剤治療学分野 手塚 優

10月20日の日曜日は、イオンモール盛岡（前潟）イーハトーブ広場を会場に、薬・薬合同の『おくすりフェスタ2019』が、10時から15時まで5時間にわたってイーハトーブ広場で行われた。『おくすりフェスタ2019』は、イーハトーブ広場のスクリーンを中心に薬剤師会、病院薬剤師会、岩手医科大学（薬学部）、薬品卸組合や登録販売者協会など、医療や医薬品販売に係わる人々がイーハトーブ広場に集まった一般人の方々に対して啓発活動を行った。岩手医科大学薬学部からは、三部薬学部長を含め教職員8名と4名の学生（5年生2名、4年生2名）がスタッフとして参加した。我々は、主にイーハトーブ広場中央スクリーンで講演およびパルスオキシメーターを使用した『心拍数を測ってみよう』といった体験コーナー、未来の薬剤師を作るための薬学部への進学相談コーナーを担当した。

中央スクリーンでの講演は多くの方に聞いていただけるよう各講演を3回、時間を変えて行われた。講演は本学教員3名（佐塚、幅野、高橋）および病院薬剤師会2名が行った。佐塚先生は、『ドーピングって何？アスリートを守るスポーツファーマシスト』と題し、うっかりドーピングに対しての注意喚起やスポーツファーマシストの活動を中心に講演を行った。幅野先生は、『アルコールの代謝から考える一薬の効き方が違うのはなぜ？』と題し、一般の方々にも想像しやすい、お酒の代謝を例として、薬の効きが人それぞれ異なる原因について説明を行った。高橋先生からは、『くすりの飲み方』というシンプルなタイトルながら、一般的なくすりの使いかたについて、わかりにくいこと、間違いやすいポイントなどを説明して安全に薬を使ってもらうための注意点の解説を行った。

体験コーナーである『心拍数を測ってみよう』では、病棟やリハビリ、在宅医療現場において患者のバイタル測定に広く使用されているパルスオキシメーターを使い、体験者の心拍数と血中酸素飽和度（SPO2）を測定し、現在の健康状態の確認を行うと共に、日頃から健康に気をつけるため

に身の回りの機器を利用することへの啓発活動を行った。イオンモールに集まったの方々に対するパルスオキシメーターを使用した心拍数とSPO2の測定では、子供から高齢者まで基本的には問題がない値（測定値 ≥ 95 ）であった。高齢者の方々（本人談：COPD患者なども含む）のSPO2値が低値となることもなく、医療機関への受診を勧めなければならないような体験者は認められなかった。また、SPO2の測定時間の間に体験者の方に対して健康維持のために何か機器を使用しているか調査を行った。その結果、万歩計を使用していたり、スマートフォンの健康アプリ（万歩計機能や運動消費カロリー計算）を使用している割合はあまり多くない（約半数）ことがわかった。

現在、スマートフォンには、健康状態をモニタリングするアプリケーションが多く存在しており、万歩計機能や睡眠状態の測定などを行うことができる。また、スマートフォンと連動させることができるアップルウォッチなどのスマートウォッチを利用することで、心拍数、血圧、心電図（海外のみ）などのバイタル測定も可能となる。多くの方々が自分のバイタルサインについて意識することがセルフメディケーションの一歩である。

今回のおくすりフェスタのような、多くの人が集まる場所で活動に参加させて頂いたことを感謝すると共に、今後もこのような啓発活動に参加していきたいと思う。



ラグビーワールドカップが行われた日 ラグビーのまちかまいし

釜石薬剤師会 中田 義仁

リレーエッセイを読んでもらっている時はすでにラグビーワールドカップの熱が冷めている頃でしょうか？私が原稿を書くためにパソコンに向かっているのは令和元年10月5日です。このリレーエッセイを読んでいたっている会員と時がズレていることを承知の上原稿を打っています。

9月25日（水）釜石で開催されたラグビーワールドカップのことをご紹介させてください。当日は晴天で、半袖でちょうど良い気候でした。私は東京と仙台在住の大学の同級生と一緒に観戦することにしており市内のホテルで待ち合わせてウノスタ（釜石鶴住居復興スタジアム）へ向かう予定でいました。当日は、朝から興奮していて仕事が手につかず、待ち合わせの時間よりずいぶん早く、ユニホーム（かまいしTシャツ）に着替えて釜石のまちに出かけました。釜石駅からいつもと雰囲気が違って、歩いている人が笑顔、色彩豊かなまちに変化していました。車をイオン隣の大型駐車場（1100台駐車可能）に止めようとしたところ一杯で空いているところを探すのに苦労しました。ファンゾーンに行ってみると、すごい人であふれており、みんなラグビーワールドカップを待ち焦がれて胸を弾ませているような賑わいでした。ステージでは民族芸能が演じられ、会場内では世界各国のジャージの展示、新日鉄釜石V7の展示、ラグビーに関するミニゲームコーナー、トライフォト、ナミビアとフィジーの国旗のフェイスペインティング、オフィシャルグッズの販売、飲食物販売など盛りだくさんの内容でした。ファンゾーンから一歩出ると、知っている人、知らない人から声を掛けられ町中がラグビーワールドカップの歓喜のうずまに包まれているようでした。

友人と合流して、シャトルバスでウノスタへ向かいました。バスを降りると、さらに盛り上がりはヒートアップして、ボランティアの人とハイタッチをしながら、あらゆる人と今日の日の喜びを分かち合いながらスタジアムに入っていました。

我々の席はバックスタンドの中央付近で試合観戦するには最高の場所でした。観客席の上段で中学生が富来旗でウノスター帯を色鮮やかにしてくれました。釜石市の小学生、中学生がまとまってゴールポスト裏の席を陣取り、大きな黄色の声援で会場を明るくしてくれました。試合前のイベントは、ブルーインパルスがスタジアム上空で5本の雲の線を描き、まるで未来に向かって「行くぞ」と言っているようでした。また、この日のために釜石市の小中学生で作詞した「ありがとうの手紙」を全生徒で合唱して、東日本大震災で支援を受けたことに対する感謝の気持ちを子供たちの力で精一杯表現した時でした（YouTubeで聞いてみてください）。東日本大震災で犠牲になられた方を偲んで黙祷が行われ、両国の国歌斉唱、キックオフとなりました。スタジアムの周りでは、高校生が東日本大震災のことを載せたうちわを配布して、震災教訓記念碑の前で東日本大震災の出来事を自分たちの言葉で紹介していました。（外国人には高校生自ら英語で紹介していました）

試合は、世界ランキングで上位のフィジーが優勢とみられていましたが、ウルグアイのタックルが素晴らしく、僅差の上ウルグアイが歴史的勝利をあげました。

今日の釜石はいつもと何かが違っていました。例えば難しいですが、映画の世界の中にいるようでした。ウノスタと釜石の町、釜石の人と全国から世界からのサポーター、子供から大人まですべてがラグビー色となり、町全体がラグビーのパビリオンといった感じだったような気がします。もちろん東日本大震災の時頂いたたくさんの方の支援への感謝をこめて。

ウノスタは、山と海しかないスタジアムですが、ラグビーファンで埋まるとこんなにも変わるものかと驚きました。

その夜は、友人と食事をしながら、昔話、くだらない話で盛り上がり、久々に息がでないほど笑いました。お酒も程よく入り最高の一日でした。



次回は盛岡薬剤師会の 藤田 真澄 先生にお願いしました。



話 題 の ひ ろ ば

保険薬局 M.K

私がおすすめしたいマンガは「光とともに」です。

「光とともに」は自閉症の息子とその家族のお話です。息子の光が自閉症であることが判明し、それに対する家族の葛藤や日常生活の大変さ、自治体の福祉対策の未整備等による翻弄、保育園から小学校の特別支援学級での生活を経て、中学校の特別支援学級へ進学した光の成長と新たな問題が描かれています。私はこのマンガを小学生の時に読みました。当時の自分には衝撃的な内容でしたが、このマンガを通して自閉症は普通の人には理解されにくい障害だと感じました。しかし、自閉症の子どもは全国に何万人といると聞きました。

なので周りの人が自閉症について知識を深めることで、自閉症の子どもや家族が生きやすい世の中になってほしいと強く思いました。「光とともに」は自閉症の他にも様々な障害や育児について、そして障害と向き合うことについて考えさせられるマンガですので、ぜひ多くの方に読んで頂きたいと思います。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

保険薬局 匿名

子供の頃から漫画が好きで、愛読している週刊漫画の発売日はワクワクし、書店より駅の売店の方が早く販売される情報を得、駅へ行ったりもしたが、数が少ないためいつも売り切れだった。学生時代友人と食事に行く際も漫画をたくさん置いている店を選んだ。そんな漫画好きな自分であるが、漫画を読むのにも体力がいる。年には勝てず最近はたまに一話完結物を読む程度になっている。

今では大分少なくなった漫画コレクション。時々読みたくなるのが杉浦茂作品で代表作に猿飛佐助、少年児雷也など昭和30年代の子供向けナンセンス、ギャグ漫画で、復刻版が出ている。登場人物が独特のゆるキャラで名前も個性的、読んでいて脱力してしまう。イラストのような一コマもあり思わず見入ってしまうこともある。ゆったりしたいときには最高の漫画です。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

保険薬局 匿名

私のおすすめのマンガは「ガラスの仮面」です。現在49巻まで発売しており、単行本以外にも実写ドラマや舞台、テレビアニメにもなっている日本の代表的な少女漫画の1つです。主人公の北島マヤが困難な状況を迎えながらも才能を開花させ、女優として成長していく過程が描かれています。作品を盛り上げている点としてライバルの存在があります。ライバルとして登場するキャラクターは裕福な家庭に生まれ、恵まれた容姿ですが、望んだ演技の才能はありませんでした。本物の天才と努力の天才、環境の差、主人公との対比により物語のもう一人の主人公として作品を盛り上げています。

1975年から40年以上続いている長編マンガですが、実はまだ完結していません。ぜひ一緒に完結まで追ってみませんか？

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

テーマ：おすすめのマンガ



山田旅の人

最近はマンガ本など読むことのなくなった山田旅の人だが、記憶に残る岩手に係る漫画がある。“こちら亀有駅前派出所”の冬の旅で、主人公の両津勘吉巡査“こち亀の両さん”が交通事故で亡くなった宮古出身のチンピラの遺骨を抱いて、故郷宮古の両親のもとに届ける慰霊の旅でした。調べてみたら昭和53年に刊行された第8巻冬の旅でした。

当時は、東北新幹線は開通後3年目で、始発駅は大宮で終着駅は盛岡でした。車内で秋田に戻る上司との諍いを起こしながら、盛岡駅で山田線に乗り換えて、兜明神岳・区界スキー場を眺めながらの宮古までの慰霊の冬の旅とおぼろげながら記憶しています。

山田旅の人は盛岡へ向かう際は、主に国道106号線の宮古・区界ルートか、JR山田線を利用する。盛岡市へ入る寸前の区界高原・兜明神岳を通り過ぎる度、兜明神岳のスロープの後を眺め、あの“こち亀の両さん”の旅の時点では区界のスキー場が盛況だったんだと思いを馳せながら、移動しています。昔の岩手県の当時の状況を思い出されるマンガ本なので、皆さんにお勧めします。

次号の「話題のひろば」のテーマは、
『クリスマスの思い出』です。
ご意見は県薬事務局へFAXかEメールで。

投稿について

* ご意見の掲載に当り記銘について下記項目からお選び、原稿と一緒にお知らせください。

(1) 記銘について

- | | |
|---------|---------|
| ①フルネームで | ②イニシャルで |
| ③匿名 | ④ペンネームで |

(2) 所属について

- | | |
|--------|--------|
| ①保険薬局 | ②病院診療所 |
| ③一般販売業 | ④卸売販売業 |
| ⑤MR | ⑥行政 |
| ⑦教育・研究 | ⑧その他 |

* 誌面の関係で掲載できない場合のあることをご了承ください。



職場紹介



みつばち薬局（一関薬剤師会）

みつばち薬局は、一関から気仙沼に向かう 284 号線の間地点である千厩町に開局して丸 2 年になりました。当薬局は、エスパiaショッピングセンターの中にあります。お隣の「菜の花クリニック」は常勤で循環器内科、火・木・土は皮膚科との 2 診制になっています。通院しながら、お買い物もでき、利便性が喜ばれています。

当薬局のスタッフは薬剤師 3 名、登録販売者を含む事務 3 名で、患者さんにあった服薬の提案、丁寧な指導・接客をスタッフ一同心掛けています。

開局当時は、知らない土地で地域に根差した薬局ができるのだろうかという大きな不安もありましたが、たくさんの方々から支えられ、少しずつ私たちの薬局が地元にも認知されてきたように感じています。今では、話しやすい薬局だと言ってくださる方やお野菜を持ってきたくださる患者さんもいたりして私たちが働くうえでも良いモチベーションになっています。今後も、地域の方々に育てられながら患者さんに寄り添うことができる薬局を目指していきたいと思っております。



〒029-0803 一関市千厩町千厩字東小田 90
TEL:0191-34-4551 FAX:0191-34-4552

とうごう薬局広田店（気仙薬剤師会）

とうごう薬局広田店は、令和元年5月7日に陸前高田市広田町にオープンいたしました。

広田町にはいまだかつて薬局が存在しなかったため、歴史上初めての薬局誕生ということになります。

今までは隣町の薬局や街中の薬局まで行かなければ薬が手に入らなかったのが、診療所のすぐそばに薬局があることが夢のようだと住民の方からは大変喜ばれております。

高齢比率が高くタクシー利用の方も多いため、時間やお金、体の負担の軽減にもつながっています。

地域のニーズに応えるためにポストの設置や切手類の取り扱いも始まりました。

また、業務上では広田診療所の医師や看護師との連携がうまくとれており、患者さまの治療方針について協議することは多々あり、とても恵まれた環境であると日々実感しています。

訪問リハビリ単独事業、リハ特化型デイサービス、フィットネスセンター、温浴施設などの事業体がある会社ですので、気仙地域の皆様の健康維持につながるようより一層努力して参りますのでよろしくお願いいたします。



〒029-2208 陸前高田市広田町字前花貝 222-5
TEL:0192-47-4500 FAX:0192-47-4510



会員の動き



会員の動き（令和元年9月1日～令和元年10月31日）

☆会員登録の変更について

勤務先・自宅住所・雑誌発送先・薬剤師区分等に変更があった場合は、変更報告書（3枚複写）を提出していただく必要があります。電話等で県薬事務局に用紙を請求して下さい。

☆退会について

退会を希望される場合は、退会届（3枚複写）を提出していただく必要があります。県薬事務局まで連絡をお願いします。

（9月 入会）

地域	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出身校 卒業年度
盛岡	1	金森 暁子 てんとうむし薬局	020-0122	盛岡市みたけ4丁目11番48号 1階	080-3394-2668		明薬大 H15

（10月 入会）

地域	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出身校 卒業年度
盛岡	6	島田 裕章 スマイル薬局	028-7111	八幡平市大更第21地割79-1	0195-75-2871	0195-75-2873	明薬大 H6
盛岡	4	高橋 由人 イオン薬局盛岡南店	020-0866	盛岡市本宮7-1-1	019-631-3716	019-631-3717	明薬大 H20
盛岡	1	田屋 博美 中津川薬局	020-0878	盛岡市肴町8-5	019-604-2300	019-604-2355	
花巻	6	森田 剛 ほしがおか・花城薬局	025-0065	花巻市星が丘一丁目8-20	0198-23-5388	0198-23-6066	北医療大 H23
花巻	6	中谷 健三 つくし薬局遠野病院前店	028-0541	遠野市松崎町白岩15地割13番地11	0198-66-3300	0198-66-3301	大阪薬大 H10
花巻	6	青笹 淳子 つくし薬局遠野店	028-0523	遠野市中央通り6-15	0198-63-1717	0198-62-7800	東北薬大 S52
北上	6	飯田 佑文 つくし薬局大堤店	024-0052	北上市大堤北1丁目6番30号	0197-67-0211	0197-67-0212	星薬大 H17
一関	6	佐藤 武 いちご薬局	021-0031	一関市青葉一丁目6-4-101号	0191-21-1539	0191-21-1539	第一薬大 H11
一関	4	渡邊 洋介 イオン薬局一関店	021-0055	一関市山目字泥田89-1	0191-25-6690	0191-25-6691	北里大 H20
一関	6	高橋 俊子 つくし薬局千厩店	029-0803	一関市千厩町千厩字石堂13-13	0191-48-4172	0191-48-4173	新薬大 H16

(9月 変更)

地域	氏 名	変更事項	変 更 内 容	
盛岡	清 野 蘭	勤務先	無従事	
盛岡	菅 原 俊 英	勤務先	〒028-3614 紫波郡矢巾町大字又兵ヱ新田5-312 矢巾西口薬局 電話 0196-6819-9495 FAX 019-681-9496	
盛岡	林 尻 英 佳	勤務先	〒158-0083 世田谷区奥沢6丁目25-10 調剤薬局ツルハドラッグ九品仏駅前店 電話 036-8059-866 FAX 036-8059-866	
花巻	田 中 圭 子	勤務先及び地域	〒028-0114 花巻市東和町土沢8区326番地 つくし薬局土沢店 電話 0198-41-5401 FAX 0198-41-5402	旧地域 奥州
北上	及 川 義 幸	勤務先	〒023-0046 奥州市水沢字川原小路12番地 水沢調剤薬局 電話 0197-23-4838 FAX 0197-23-4849	
奥州	山 口 玲 子	勤務先	〒023-0403 奥州市胆沢若柳字甘草324番地 ふれあい薬局 電話 0197-41-4110 FAX 0197-46-5150	
奥州	佐々木 保 之	勤務先及び地域	〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字五反町92番地1 つくし薬局さくらかわ店 電話 0197-34-1107 FAX 0197-34-1108	旧地域 花巻
一関	阿 部 佳 子	勤務先	無従事	
釜石	藤 田 史 帆	勤務先及び地域	〒026-0301 釜石市鶴住居町13-43-1 リリーフ薬局 電話 0193-29-1555 FAX 0193-29-1556	旧地域 盛岡
宮古	芳 賀 翔 子	勤務先及び地域	〒028-0114 花巻市東和町土沢8区326番地 つくし薬局土沢店 電話 0198-41-5401 FAX 0198-41-5402	旧地域 宮古
二戸	亀 田 隆 浩	勤務先及び地域	〒028-5133 二戸郡一戸町中山字大塚118-2 かめちゃん調剤薬局 電話 0195-35-3009 FAX 0195-35-3010	旧地域 盛岡

(10月 変更)

地域	氏 名	変更事項	変 更 内 容	
盛岡	宮 手 葵	氏名	旧姓：佐々木	
盛岡	上 村 悠 太	勤務先	〒020-0839 盛岡市津志田南3丁目14-3 津志田南オレンジ薬局 電話 019-613-8129 FAX 019-613-8130	
盛岡	浅 尾 太 宏	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号 岩手医科大学附属病院 電話 019-613-7111 FAX 019-907-2721	
盛岡	工 藤 正 樹	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号 岩手医科大学附属病院薬剤部 電話 019-613-7111 FAX 019-907-2721	
盛岡	米 澤 裕 司	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通2-1-1 岩手医科大学附属病院薬剤部 電話 019-316-7111 FAX 019-907-2721	
盛岡	朝 賀 純 一	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通2-1-1 岩手医科大学附属病院薬剤部 電話 019-316-7111 FAX 019-907-2721	
盛岡	佐々木 拓 弥	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号 岩手医科大学附属病院 電話 019-613-7111 FAX 019-907-2721	
盛岡	佐 藤 文 彦	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通2-1-1 岩手医科大学附属病院 電話 019-316-7111 FAX 019-907-2721	
盛岡	金 野 琴 子	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通2-1-1 岩手医科大学附属病院 電話 019-613-7111 FAX 019-611-8081	
盛岡	高 橋 美 樹	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号 岩手医科大学附属病院臨床研究支援センター 電話 019-613-7111 FAX 019-907-5496	
盛岡	森 恵	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通2-1-1 岩手医科大学附属病院薬剤部 電話 019-316-7111 FAX 019-907-2721	
盛岡	工 藤 賢 三	勤務先	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号 岩手医科大学附属病院薬剤部 電話 019-613-7111 FAX 019-907-2721	
花巻	佐々木 紅 子	氏名	旧姓：本多	
北上	佐 藤 崇 人	勤務先	〒024-0051 北上市相去町相去51 ほのぼの薬局 電話 0197-71-2727 FAX 0197-81-5858	
奥州	千 田 泰太郎	勤務先	〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字慶徳76-1 はなぞの薬局 電話 0197-34-0186 FAX 0197-34-0188	

地域	氏 名	変更事項	変 更 内 容	
奥州	及 川 崇 宏	勤務先	無従事	
奥州	本 名 弘 道	勤務先	〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字慶徳76-1 はなぞの薬局 電話 0197-34-0186 FAX 0197-34-0188	
奥州	小田島 章 博	勤務先及び地域	〒023-0046 奥州市水沢川原小路17 水沢センター薬局 電話 0197-22-2100 FAX 0197-23-3600	旧地域 北上
奥州	森 雅 文	勤務先	〒023-0032 奥州市水沢字多賀47 みどり薬局不断町店 電話 0197-51-2216 FAX 0197-51-2217	
一関	八重樫 千 晶	勤務先	〒029-0132 一関市滝沢字宮田124-1 ヒカリ調剤薬局大平 電話 0191-31-1315 FAX 0191-31-1316	
気仙	千 葉 厚 志	勤務先	〒029-2204 陸前高田市気仙町字中井190-1 気仙中央薬局高田店 電話 0192-53-1250 FAX 0192-53-1251	
気仙	石 川 準 二	勤務先	〒026-0021 釜石市只越町2丁目5-5 パルム薬局 電話 0193-22-3353 FAX 0193-52-5201	
釜石	阿 部 美恵子	勤務先	〒028-1131 上閉伊郡大槌町大槌第15地割95-256 ひよっこり薬局 電話 0193-27-5220 FAX 0193-27-5221	
宮古	吉 田 博	勤務先	無従事	

9月退会

（盛岡）佐藤 友美、川村 厚子、小原 香月、清野 蘭

10月退会

（盛岡）山岸 聖、岩元 厚智 （宮古）坪井 良幸 （二戸）似田 剛史、石塚 薫

会 員 数

	正 会 員	賛助会員	合 計
令和元年10月31日現在	1,716名	79名	1,795名
平成30年10月31日現在	1,672名	84名	1,756名



新たに指定された保険薬局

地域名	指定年月日	薬局名称	開設者名	〒	住所	TEL
気仙	R1.10.01	善進堂薬局	長谷川 伸	022-0002	大船渡市大船渡町字新田49-3	0192-27-9250
奥州	R1.10.01	はなぞの薬局	高野 英夫	023-0003	奥州市水沢佐倉河字慶徳76-1	0197-34-0186
盛岡	R1.10.01	ドレミ薬局	大石 美也	020-0632	滝沢市牧野林1010-2	019-699-1234
盛岡	R1.10.01	矢巾西口薬局	松井 浩之	028-0361	矢巾町大字又兵エ新田5-312	019-681-9495
盛岡	R1.11.01	クローバー薬局	大橋 一夫	020-0866	盛岡市本宮字小板小瀬13-3	019-656-2011



求人情報



受付日	種別	就労場所	求人者名・施設名	区分	勤務時間		休日	その他
					平日	土曜日		
R1.11.12	保険薬局	盛岡市みたけ4-11-48	てんとうむし薬局	パート	その他の欄参照		日曜、祝日	昇給有り、通勤手当有り、週8時間程度勤務（1日4時間週2回又は1日8時間週1回）（12月オープン）
R1.11.6	保険薬局	盛岡市中野1-21-1	なかのユニオン薬局	常時	8:30～18:00	8:30～13:00	日曜、祝日、他月1回水曜	昇給有り、賞与有り、退職金有り、通勤手当有り
R1.11.5	保険薬局	盛岡市上田1-18-50	あおば薬局上田店	常時	9:00～18:00		日曜、祝日、他（週休二日制）、お盆、年末年始	昇給有り、賞与有り、退職金有り、通勤手当有り、パート可（応相談）
R1.11.5	保険薬局	花巻市高木15-18-13	たかき薬局	常時	9:00～18:00	9:00～13:00	日曜、祝日、夏季休暇、年末年始	昇給有り、賞与有り、退職金有り、通勤手当有り、管理職手当等有り
R1.11.5	病院	盛岡市本宮5-15-1	盛岡市立病院	パート	8:30～17:15		土曜、日曜、祝日（週休二日制）	勤務日・時間等相談に応じます
R1.11.5	保険薬局	盛岡市永井22-3-128	すばる薬局永井店	常時	9:00～18:00	9:00～13:00	日曜、祝日、水曜午後、第2・4土曜	昇給有り、賞与有り、通勤手当有り、薬剤師手、管理手、家族手当等有り
R1.11.5	保険薬局	一関市上坊6-36 一関狐禅寺大平125-13 一関市山目字中野59-1	かたくり薬局 やまぶき薬局 れもん薬局	常時	9:00～18:00	9:00～13:00	日曜、祝日 土曜は隔週	昇給有り、退職金有り、通勤手当有り、住宅手当有り、パート可
R1.11.5	保険薬局	盛岡市緑が丘4-1-50	調剤薬局アステイ こうの	常時	8:30～18:00	8:30～12:30	日曜、祝日、水曜及び土曜の午後、年末年始、お盆休暇	昇給有り、退職金有り、通勤手当有り
R1.11.5	保険薬局	大槌町小鎚27-3-4	有菊屋薬局	常時	10:00～18:00	9:00～13:00	日曜、祝日（土曜休も可）	通勤手当有り、パート可（土曜のみ可）
R1.11.5	保険薬局	一戸町西法寺字稲荷21-1	めぐみ薬局	常時	8:30～17:30 （水 8:30～17:00）	8:30～12:30	日曜、祝日、他	昇給有り、賞与有り、退職金制度有り、通勤手当有り
R1.11.5	保険薬局	花巻市円万寺字下中野45-11	ゆぐち薬局	常時	9:00～18:00	9:00～12:30	日曜、祝日、他	昇給有り、賞与有り、退職金制度有り、通勤手当有り
R1.11.5	保険薬局	奥州市水沢区字川原小路12	水沢調剤薬局	常時	8:45～17:45		日曜、祝日、他、年末年始、夏季休暇	昇給有り、退職金有り、通勤手当有り
R1.11.5	保険薬局	奥州市胆沢区若柳字甘草324	ふれあい薬局	常時	8:45～17:30 8:45～21:00 9:00～12:00		日曜、祝日、他、年末年始、夏季休暇	昇給有り、退職金有り、通勤手当有り
R1.11.5	病院	一関市大手町3-36	医療法人博愛会 一関病院	常時	8:30～17:00	8:30～12:00	日曜、祝日、年末年始、第13.5土曜	昇給有り、通勤手当有り
R1.11.5	保険薬局	盛岡市津志田南2-16-31	エース薬局	常時	9:00～18:30 （木 9:00～13:00）	8:30～13:00	木曜、土曜午後、日曜、祝日	昇給有り、退職金有り、通勤手当有り
R1.11.5	保険薬局	滝沢市大釜竹鼻163-14	すこやか薬局	常時	9:00～18:00	8:30～13:00	日曜、祝日、年末年始、夏期休暇	昇給有り、賞与有り、退職金有り、通勤手当有り
R1.11.5	保険薬局	宮古市栄町2-4	健康堂薬局駅前店	常時	9:00～17:30	9:00～13:00	日曜、祝日	昇給有り、賞与有り、退職金有り、通勤手当有り、パート可
R1.10.8	病院	盛岡市西松園3-22-3	医療法人共生会 松園第二病院	常時	8:30～17:15 （水 8:30～12:30）	8:30～12:30	日曜、祝日 水曜、土曜午後当番制	昇給有り、賞与有り、退職金有り、通勤手当有り
R1.9.20	保険薬局	盛岡市みたけ4-11-48	てんとうむし薬局	常時	9:00～18:00 （水 9:00～13:00）	9:00～13:00	日曜、祝日、他（シフトで週休3日）	昇給有り、賞与有り、退職金有り、通勤手当有り（12月オープン）
R1.9.5	保険薬局	盛岡市緑が丘1-1-37	有鶴亀薬局	常時	その他の欄参照			週休二日（シフト制）、週38時間勤務、その他応相談
R1.9.5	保険薬局	盛岡市中央通3-14-4-101	たんばぼ薬局桜城店	パート	9:00～12:30	9:00～13:00	日曜、祝日、お盆、年末年始	通勤手当有り、週2～3日（土曜は月2回）程度勤務
R1.9.5	病院	遠野市青笹町中沢5-5-1	六角牛病院	常時	8:30～17:15		土曜、日曜、祝日、他、年末年始、開院記念日	昇給有り、賞与有り、通勤手当、住宅手当、家族手当有り、養育、定時終業（残業なし）、即年休使用可
R1.9.5	病院	盛岡市肴町2-28	栃内病院	常時	8:30～17:00	8:30～12:30	日曜、祝日、他（4週6休シフト制）、年末年始、夏期休暇	昇給有り、賞与有り、退職金有り、通勤手当、給食（昼）有り、住宅手当、クリーニング手当、駐車場手当
R1.9.5	病院	西和賀町沢内字大野13-3-12	町立西和賀さわうち病院	常時	8:30～17:15		土曜、日曜、祝日、年末年始、夏季休暇	昇給有り、賞与有り、退職金有り、通勤手当有り、給食有り（400円/1食）、住宅手当有り、公務員共済加入
R1.9.5	保険薬局	盛岡市愛宕町2-38	あたご薬局	常時	8:45～18:15	8:45～13:15	日曜、祝日、他	昇給有り、賞与有り、通勤手当有り

■岩手県薬剤師会【薬剤師無料職業紹介所】では、求人、求職ともそれぞれ、「求人票」、「求職票」を登録のうえでのご紹介となっております。登録をご希望のかたは、直接来館または、「求人票」「求職票」を送付いたしますので県薬務局（電話 019-622-2467）までご連絡ください。受付時間は（月～金／9時～12時、13時～17時）です。なお、登録については受付日～三ヵ月間（登録継続の連絡があった場合を除く）とします。

編集後記

秋といえば、食欲の秋、スポーツの秋ですね。今年の秋は特に、スポーツの秋！だったと思います。
ラグビーワールドカップをテレビの前で一生懸命応援していたと思います。（スタジアムで観戦できれば最高でしたが）日本の活躍をわくわくドキドキしながら見ていたのは、私だけではなかったと思います。
今年の流行語に、ラグビー関連ワードがノミネートされていました。その中で「ONE TEAM」というワードが印象的でした。この言葉はラグビーだけでは無く、薬剤師にも置き換えられると思います。薬剤師がこれから何を求められ、何をすればいいのか、薬剤師が「ONE TEAM」になって考えていければいいなと思います。
（編集委員 川目 聖子）

・ ・ ・ ・ ・ お知らせ ・ ・ ・ ・ ・

（一社）岩手県薬剤師会ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

「会員のページ」ユーザー名 iwayaku
パスワード ipa2210

「イーハトーブ」は、会員相互の意見や情報の交換の場です。
会員の皆様からの投稿・意見・要望をお待ちしております。

投稿・意見・要望あて先 県薬事務局 TEL 019-622-2467 FAX 019-653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

（アイ・ピー・エー・イチ・エイチ・イー・エー・ディー）

薬剤師会館休館のお知らせ

年末年始につき次の期間は岩手県薬剤師会館を閉館いたします。
令和元年12月29日（日）から令和2年1月3日（金）まで

表紙の写真

沢尻岳頂上（西和賀町）から和賀岳を臨む

ペンネーム：居眠り猫（盛岡市在住）

編 集	担当副会長	金澤貴子
	担当理事	高林江美、川口さち子、嶋 弘一、川目聖子
	編集委員	川目聖子、高野浩史、安倍 奨、佐々木拓弥、鷹觜直佑
	地域薬剤師会編集委員	工藤正樹（盛岡）、伊藤勝彦（花巻）、三浦正樹（北上）、 千葉千香子（奥州）、村上達郎（一関）、金野良則（気仙）、 佐竹尚司（釜石）、内田一幸（宮古）、新渕純司（久慈）

イーハトーブ～岩手県薬剤師会誌～ 第76号

第76号（奇数月1回末日発行）

令和元年11月28日 印刷
令和元年11月30日 発行

発行者 一般社団法人 岩手県薬剤師会
発行所 一般社団法人 岩手県薬剤師会

会長 畑澤博巳
〒020-0876 盛岡市馬場町3番12号
TEL (019) 622-2467 FAX (019) 653-2273
e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

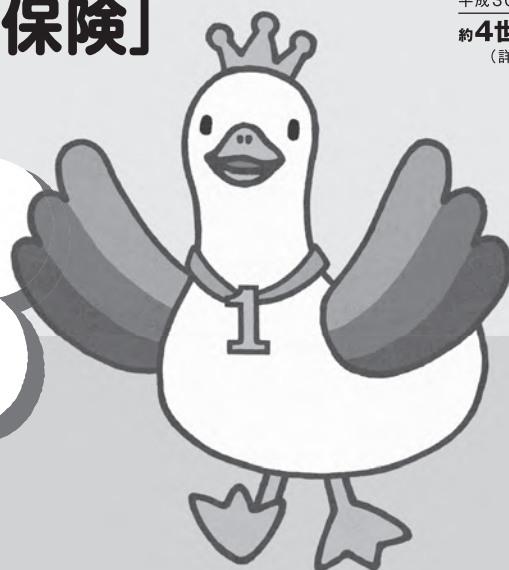
印刷所 杜陵高速印刷株式会社

〒020-0811 盛岡市川目町23番2号 盛岡中央工業団地
TEL (019) 651-2110 FAX (019) 654-1084

これからの医療の進歩を見据えた 「生きるためのがん保険」

No.1 がん保険
医療保険
保有契約件数
平成30年版 インシュアランス生命保険統計号
約4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入
(詳細はホームページをご確認ください)

**生きるための
がん保険**
Days 1



女性特有のがんにも手厚い
**生きるための
がん保険**
Days 1

あなたの保障を最新化
**生きるための
がん保険**
Days 1 プラス

すでにアフラックの
がん保険にご契約の皆様に

●契約年齢:0歳～満85歳まで●

〈生きるためのがん保険Days1〉スタンダードプラン入院給付金日額10,000円
保険期間:終身〈抗がん剤・ホルモン剤治療特約〉〈がん先進医療特約〉は10年更新

▽…上皮内新生物は保障の対象外

プランに組み込まれた特約

診断 一時金として	それぞれ1回限り がん 50万円 上皮内新生物 5万円	三大治療	手術	1回につき 20万円	がん 先進医療 がん先進医療給付金 1回につき 先進医療にかかる技術料のうち 自己負担額と同額	
特定診断 一時金として *1	1回限り がん 50万円		放射線	1回につき 20万円		がん先進医療一時金 1回につき 15万円
入院	1日につき 10,000円		抗がん剤・ ホルモン剤 乳がん・前立腺がんの ホルモン剤治療のとき 5万円 (給付倍率1倍)	再発・治療の長期化	複数回 診断 *2	1回につき がん 50万円 上皮内新生物 5万円
通院	1日につき 10,000円			特定保険料 払込免除 *1	免除事由に 該当後の保険料は いただきません。	

月払保険料【個別取扱】 スタンダードプラン
入院給付金日額10,000円 解約払戻金なしタイプ 定額タイプ
保険料払込期間:終身〈抗がん剤・ホルモン剤治療特約〉
〈がん先進医療特約〉は10年更新
〈特定保険料払込免除特約〉付き

契約日の満年齢	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳
男 性	2,534円	3,394円	5,025円	8,128円	13,693円
女 性	2,534円	3,485円	5,159円	6,831円	8,521円

2018年4月2日現在



ニーズに合わせて
特約をプラス!

外見ケア特約

治療に伴う外見のケアに備える
保険期間:10年更新

緩和療養特約

緩和ケアに備える
保険期間:終身

*1 入院や通院が所定の条件に該当したとき *2 がん・上皮内新生物の診断後、2年経過後に所定の条件に該当したとき

●アフラックの「医療保険」「がん保険」に付加する先進医療の特約は、被保険者お1人につき通算して1特約のみご契約いただけます。●保障の対象となる先進医療は、厚生労働大臣が認める医療技術で、医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状等)および実施する医療機関が限定されています。また、厚生労働大臣が認める医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。●〈抗がん剤・ホルモン剤治療特約〉〈がん先進医療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。●特約のみのご契約はできません。●〈診断給付金複数回支払特約〉〈特定保険料払込免除特約〉の中途付加のお取扱はありません。◎詳細は「契約概要」等をご覧ください。

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

〈引受保険会社〉

ナカイ株式会社 盛岡支店 ナカイ 保険

「生きる」を創る。

〒020-0025 盛岡市大沢川原3丁目8-40 / パレスこずかた橋1F

TEL:019-652-3261(代) FAX:019-652-3275

フリーダイヤル(通話料無料)



0120-523-261

受付時間:9:00~18:00(土・日・祝除く)

Aflac

アフラック 盛岡支社

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス13F

当社保険に関するお問い合わせ:各種お手続き コールセンター 0120-5555-95

AF ツール -2019-5377-1905002 7月29日

わたしたち薬剤師はスポーツ選手の味方です！

